2020年度(令和2年)事業報告



社会福祉法人 足立邦栄会 リブインさくら

〒121-0832

東京都足立区古千谷本町4丁目1番16号

TEL 03 (5691) 6602

FAX 03 (5691) 7272

http://www.livein-sakura.jp

【リブインさくら】 令和2年度通期事業報告

1、事業展開

1. 事業運営総括

令和2年度は、新規のご入居者 7名、退去されたご入居者が 4 名と、令和元年度とは異なり入居者数が退去者数を上回りました。要因として、令和元年度は特別養護者人ホームの入居待ちやお看取り目的での入居もあり、その空き室に対するご入居が順調に対応できたことがあげられます。また、新型コロナウイルス感染症による近隣事業所の入居受け入れストップも影響しました。退去された4名のうち3名は、事業所でお看取りさせていただきました。在宅医療が強化されている時代背景の中で、リブインさくらも在宅サービスの一端を担っており引き続き訪問診療クリニックと連携して事業所機能を高めていき時代に沿える環境を整備していきます。

ご入居者の平均年齢は91.4歳、平均要介護度が3.27になりました。超高齢社会が進む中、 ご入居の目的は様々ですが「人生の最期をどの様に迎えるか」ということは誰もが持つテーマ になります。ご本人やご家族の死生観を踏まえ、リブインさくらでどの様な支援ができるかを 密に話し合い適切なサポートが求められています。平均在籍者については、34.7名となって おり、既存の職員数で対応可能な人数をキープすることができました。空き居室の活用方法や、 職員動態の工夫など先を見通した稼働率を見据える必要が課題として残りました。

法人設立20周年を記念したイベントとして「笑顔」・「育成」・「食」・「ランドマーク」・「情報戦略」・「組織」の6つのプロジェクトと、年度途中から新型コロナウイルス感染予防の観点から延期になった「記念式典」のプロジェクトが立ち上がりてつのプロジェクトが動きました。コロナ禍でオンラインの活用をしながら、ボッチャ大会・事例発表会・ケーキのデコレーション・式典準備など足立ブロックと多摩ブロックの各事業所がつながり新しい連携の在り方について基盤になってきました。まだ、オンラインの活用がプロジェクトメンバーや企画参加者の一部職員に留まっており次年度の課題になりました。

新型コロナウイルス感染対応については、「持ち込まない」を大前提に対策をとりました。 訪問診療をラウンジ(飛沫防止パーテーション設置)での対応に変え、定期の外部ボランティア 様には飛沫防止パーテーションやフェイスシールドの着用をしていただきました。受診は、代 診・電話診・モニター診もしくは処方の期間を延長していただき対応しました。職員について は、出勤時の検温や通年での手洗い嗽実施、休憩場所の分散、発熱時の出勤停止等の標準予防 策を行いました。関係者様にも、入館エリアの限定や面会の制限にご協力いただきました。情 勢に合わせて予約面会やオンライン面会にご協力いただいております。

しかしながら、令和3年の3月に感染者が発生してしまい施設クラスターが起きてしまいま した。既存の対応で、「持ち込まない」が通用しない中で、

- ・ご入居者のマスク着用の徹底
- リビングスペースの飛沫防止パネル設置
- ・職員の定期的な PCR 検査と休日も含めた朝夕の検温表提出
- 3密活動の縮小

を行い標準予防策の感度を高めて一般社会に求められる感染予防が必要な状況になりました。 その他、令和3年度は介護報酬改定年度になります。

①感染症や災害への対応力強化

- ②地域包括ケアシステムの推進
- ③自立支援・重度化防止の取組推進
- ④介護人財の確保・介護現場の革新
- ⑤制度の安定性・持続可能性の確保

団塊の世代が75歳以上、つまり後期高齢者になる2025年に向けて取り組むべき5つの柱が示されました。認知症介護や看取り介護体制の整備や、ICT機器を活用した間接業務を中心とした介護業務の効率化や生産性の向上が求められています。令和2年度は、館内の一部をwi-fi環境にするための打ち合わせを業者としました。会議の効率化やICT機器によるデータ入力等の整備を進める予定です。採用・人財育成では、無資格者の認知症介護基礎研修の受講が必須に変わりました。2021年卒の新卒採用も内定者7名のうち介護福祉士資格所持者は0名ということもあり、採用戦力や計画的人財育成環境の整備が求められます。

2. 重点目標に対する評価

(1) 職員参加の事業運営と、主体的な委員会活動によるモチベーションの維持

取り組み内容	評価(達成度・課題・次期目標)
・運営会議を軸に連携しつつも委員会運営	・各委員会で議案の決裁をしており、感染対策
の自立を尊重し、「総合支援」「感染対応」	等必要な対応を除いては委員会手動での周知
「環境美化」に関する議案決裁を行う。	対応をしました。
・重大事故再発防止の検討や看取り振り返	・議案だけでなく、専門性の向上に資する情報
りと、通年の OJT 研修を委員会毎に実施	交換や研修を適宜実施しました。
する。	

(2) ベテラン職員が多い中で、地域貢献や在宅サービスを意識した視野拡大と自己研鑽の支 _発

版	
取り組み内容	評価(達成度・課題・次期目標)
•年度末に、キャリア形成シートと意向調	・昨年度は、国家資格挑戦者 1 名で無事に資格
査を実施した。	取得しました。次年度も、意向確認しつつ新規
・人事考課面談の際に、介護福祉士国家資	入職者の資格取得フォローが必要となります。
格の受験要件を満たす職員への取り組み	・年度中の感染対策強化により、定期ボランテ
状況や、その他資格取得に関する意向確認	ィア4組に限定した。既存の活動から発展させ
を行う。	たりと変化が求められます。
ボランティアの受け入れや、訪問マッサ	
ージの活用を行う。	

(3) ビジョン 2023 プロジェクトによる、OFF-JT 活用による情報共有と発信

取り組み内容	評価(達成度・課題・次期目標)
・笑顔チームの「ボッチャ大会」、育成チ	一部、テレビ会議や ZOOM を活用したオンラ
ームの「事例検討会」、食チームの「広報	イン開催になった。若干、オンライン活用に対
誌」等、プロジェクトメンバーを中心に各	する抵抗感や環境の整備が必要な課題点があ
活動において事業所の窓口となり企画か	ります。
ら実施を行う。	プロジェクトによっては、コロナ禍により活動を各事業所に周知できなかったりと活動自体に制限を受けました。

2、事業運営

1) 入退居及び入院外泊状況集計表(定員41名)

	繰	入	退	月	入	入	入	院	外	泊	平	平	平	末
	越	居	居	末	居	居	実	 延	実	延	均	均	均	В
	在	数	数	在	者	者		べ	人	べべ	在	入	要	並
	籍			籍	実	延	人員		員		籍	居	介	均
	者			者	人	ベ	貝	数	貝	泊	率	率	護	年
	数			数	員	数				数	(%)	(%)	度	始令
4 月	30	3	0	33	32	898	1	23	Ο	0	74.9	73.0	3.4	95.87
5 月	32	2	Ο	35	34	992	1	31	0	Ο	80.6	78.0	3.3	92.38
6 月	35	1	0	36	35	1,020	1	30	0	0	85.0	82.9	3.4	92.44
7 月	35	0	0	35	35	1,055	2	30	0	0	85.4	83.0	3.4	92.56
8 月	35	0	0	35	35	1,033	3	52	0	0	85.4	81.3	3.4	92.65
9月	35	0	1	34	34	983	4	51	Ο	0	84.1	79.9	3.3	90.06
10月	35	1	0	35	36	1,010	3	47	Ο	0	83.2	79.5	3.2	90.00
11月	35	0	0	35	35	1,035	2	15	0	0	85.4	84.1	3.2	90.00
12月	35	0	1	34	35	1,051	2	8	Ο	0	83.3	82.7	3.2	90.03
1 月	34	1	0	35	35	1,051	2	8	Ο	0	83.3	82.7	3.2	90.26
2 月	35	0	0	35	35	964	2	16	0	0	85.4	84.0	3.2	90.40
3 月	35	0	3	32	35	895	18	138	1	6	81.3	70.4	3.2	90.54
<u></u>	男	1	3			1,675	10	149	0	0				
合	女	7	2			10,312	31	151	1	6	83.1	80.1		
計	計	8	5			11,987	41	300	1	6				

2)入居者状況

入居者数 8名 (男性 1名、女性 7名)

入居前	男	女	計	入居前	男	女	計
在 宅	Ο	4	4	他の福祉施設	Ο	Ο	0
医療機関	1	3	4	その他	0	0	0

3)退居者状況

退居者数 5名(男性 3名、女性 2名)

退居理由	男	女	計	退居理由	男	女	計
在宅復帰	Ο	Ο	Ο	特定施設入居者生活介護	0	Ο	Ο
長期療養	Ο	1	1	他の介護老人福祉施設等	0	0	Ο
死 亡 ※	3	1	4				

※ 内、3名の方が看取り支援

4) お問い合せ状況

件数

001010101000000			1150
機関/媒体	合計	申込	入居
紹介機関Aわらいふ	6	1	1
紹介機関Bみんなの介護	4	1	1
紹介機関Cぷれしゃす			
紹介機関Dあいらいふ	თ	1	1
紹介機関E介護のほんね	1		
紹介機関Fホーム紹介センタ	თ		
紹介機関Gみんかい	2		
有料老人ホーム協会			
提携医療機関	1	1	
ホームページ	2		
医療機関より紹介	2	2	2
近隣	1	1	
居宅介護支援事業所			
職員知人			
法人関係	1	1	1
入居者知人、家族等	5	2	2
その他(新聞等)			
合 計	31	10	8

5) ご見学者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介機関A	1				1			1	1				4
紹介機関B													0
紹介機関D					1								1
紹介機関E					1								1
紹介機関F								1					1
提携医療機関										1			1
ホームページ等													0
医療機関より													0
近隣							1						1
居宅介護支援事業所													0
法人関係	1												1
入居者家族等													0
その他(新聞等)				1									1
合 計	2	0	0	1	3	0	1	2	1	1	0	Ο	11

6) 職員状況

令和3(2021)年3月31日現在

職種	配置数	現員(常勤			入職者数	退職者
		換算)	うち常勤	うち非常	(通期)	数
				勤		(通期)
介護職員/生活支援員	18	17	14	8	2	3
看護師	5	3.8	2	3		
機能訓練指導員	2	0.1		2	1	1
管理栄養士/栄養士						
調理員					1	
事務職員	1	1	1			
相談職(各職種を記載)	1	1	1			
管理者(施設長/所長)	1	1	1			
その他 (事業所の実態)	6	3.3		6		1

3、健康管理

1) ご入院者等状況【 年間総数 38件】

医療機関名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ようせいクリニック					1	2	1		2	1		1
水野リハビリ					1	1	1	1				
東京曳舟病院											1	1
苑田第三病院		1	1	1								
日本医科大千駄木				1	1					1	1	
平成立石病院												1
都立豊島病院												1
都立松沢病院												1
舎人病院												3
東部地域病院												5
等潤病院		1		1	1		1				1	1
合 計	0	2	1	3	4	3	3	1	2	2	3	14

2) 救急車要請【年間総数 3件】

状況 / 状態	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
診察のみ												
入院				1		1				1		
死亡												
合 計	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0

3) 看取り支援実績【 年間総数 3件 】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
看取り支援	0	0	0	Ο	0	Ο	0	Ο	1	0	Ο	2

4)往診による受診者状況

は述べ人数

医療機関名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
+#!	12	11	12	13	13	13	13	11	13	13	13	12
増田クリニック	<u>23</u>	<u>22</u>	<u>26</u>	<u>28</u>	<u>31</u>	<u>27</u>	<u>28</u>	<u>30</u>	<u>37</u>	<u>33</u>	<u>31</u>	<u>27</u>
城東在宅医療	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
クリニック	<u>7</u>	<u>6</u>	<u>6</u>	<u>7</u>	<u>6</u>	<u>5</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>4</u>
ハラダクリニック	15	16	17	17	16	16	15	20	18	18	18	17
NJ999=99	<u>28</u>	<u>31</u>	<u>33</u>	<u>33</u>	<u>33</u>	<u>32</u>	<u>32</u>	<u>38</u>	<u>35</u>	<u>36</u>	<u>36</u>	<u>35</u>
+++ /2 = /2	0	1	1	1	1	1	1	2	1			
木村クリニック	<u>O</u>	<u>2</u>										

辻村クリニック	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	<u>o</u>	<u>o</u>	<u>5</u>	<u>5</u>	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>2</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>2</u>	<u>5</u>	<u>1</u>
ライフテ゛ンタルクリニック	25	24	26	28	24	27	25	27	27	27	27	26
十条(歯科)	<u>92</u>	<u>69</u>	<u>83</u>	<u>78</u>	<u>55</u>	<u>71</u>	<u>96</u>	<u>70</u>	<u>70</u>	<u>75</u>	<u>60</u>	<u>51</u>

5) 医療機関受診者状況【 年間総数 190件 】

はぇ	ゖ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゚゙゙ヿ゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚	Y	米灯
	I)' \		→ →¥

_ +			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								100,200	
医療機関名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
増田クリニック			1	2	1		1	1	3	1	2	1
垣田ノワニック			<u>1</u>	<u>4</u>	<u>1</u>		<u>2</u>	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>2</u>
L = 1 L1 \ bil = b			2									1
ようせいクリニック			2									<u>1</u>
-12 -12			3	1		1		1			2	1
ハラタ゛クリニック			<u>5</u>	<u>1</u>		<u>1</u>		<u>1</u>			<u>2</u>	<u>1</u>
								_			_	
足立東部病院												
	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2
大内病院	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>2</u>	2	<u>2</u>
	<u> </u>	의	의	<u>2</u> 1	<u>≅</u> 1	<u>≅</u> 1	<u>≅</u> 1	<u>=</u> 1	<u> </u>	<u>≦</u> 1	<u>≦</u> 1	_ <u>≦</u> 1
東京足立病院												
				1	<u>2</u>	2	2	<u>2</u>	1	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>1</u>
成仁病院	1	2		2		2	2		2		2	
	<u>1</u>	<u>2</u>		<u>2</u>		<u>2</u>	<u>2</u>		<u>2</u>		<u>2</u>	
 玄クリニック				1	1	1	1	2	1		1	1
				<u>1</u>	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>1</u>		<u>1</u>	<u>1</u>
今井良枝眼科			2	2	3	1	2	1	3	4	1	
クリニック			<u> </u>	2	<u>4</u>	<u>1</u>	2	<u>1</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	
竹ノ塚皮膚科						1	1	1	1	1	1	1
クリニック						<u>3</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>3</u>
川本皮膚科												
並木クリニック												
							1	1				
神谷医院												
共口序 院	4	2	4				<u>2</u>	1 1		4		
苑田病院	1	3	1	2				1		1		
(第一•第二•第三)	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	<u>2</u>				<u>1</u>		<u>1</u>		
東京北部病院												
			1	1					1			
東京洪誠病院			<u>1</u>	<u>1</u>					<u>1</u>			
	l							l		l	l	

東京女子医科大												
東医療センター												
- 駒込病院												
日本医科大学		2		1	1			1	1	1	2	
付属病院		<u>2</u>		<u>1</u>	<u>1</u>			<u>1</u>	<u>1</u>	<u>1</u>	2	
博慈会記念総合	1	1	2		2	1					1	1
病院	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>2</u>		<u>2</u>	1					1	1
等潤病院		1	<u>1</u>	1								
安 鸠奶杌		1	<u>1</u>	1								
水野病院			1	1				1				
וקנאנג±רוג			<u>1</u>	<u>1</u>				<u>1</u>				
合 計	6	13	20	20	14	14	18	18	21	15	19	12

4、事故報告

1)重大事故

日付(時間)	内容	対応・対策
2020.5.31		
6:00	巡回時、入眠を確認する。	事務所職員がキーパーソンに
6:29	職員がステーションに待機中に居室内から「ドン」と物音があり訪室する。 "居室のドアの前で、転倒されており右上腕から出血あり。10×5cmの表皮剝離を確認する。 少々興奮気味で「トイレトイレ」と仰り車椅子移乗してからトイレに座って頂	電話連絡する。 早朝の転倒について説明を行い、受診する意向をお伝えする。状況整理後、再発防止策と 受診結果を含め再度ご連絡することを確認して電話を切る。
	く。安静後にバイタル測定実施。 KT37.1℃、BP160/80、P68。右上腕 と右脇腹に痛みあり。	11:45、受診結果をキーパーソンに電話報告する。「状況については理解しました。処置等
6:33	を勤者が他コール対応の為、早番職員に応援依頼してオンコール当番への状況報告 依頼をする。	お願いします。」と返答あり。 再度、事故について謝罪する。 また、センサー位置をベッド柵
6:35	早番職員にて、オンコール当番に連絡する。 応対看護師より、圧迫止血して安静指示あり。	の手前側から端(壁)側にして、 仮にベッド柵を跨いでも反応 する場所に設置することをお 伝えする。
7:00	巡回時、覚醒しているがベッド上での安静 を確認する。	
8:00	巡回時、覚醒しているがベッド上での安静	

	T	
8:25	を確認する。 看護師到着し、出血部位を確認する。表皮 剥離部をテープ固定し包帯にて保護する。 バイタル測定実施しKT36.6、 BP158/74、P68。右脇腹に発赤確認す る。手で軽く触れると疼痛あり。	《再発防止に向けての今後の対応》 《事故翌日6/1(月)の16:30 に事故防止のためのカンファ レンス実施》
9:10	発赤部位周辺に触れると痛みの訴えが強 くなっており、家族に状況説明と受診の連 絡をする。	・仮にセンサー反応が無かった 場合も、在宅時の環境と同様に 伝い歩きできる様に動線に丸 椅子を設置する。
9 : 25 11 : 45	苑田第一病院が受診の受け入れ可能との事で救急外来に受診する。診察の結果、右肋骨第11番目骨折と診断あり。痛み止めとバストバンドが処方される。日常生活動作については、特に制限無しで良い事と自然治癒で再受診は必要無いと指示あり。帰施される。立位時は痛み無いが椅子に座る際と右側臥位になる際に痛みあり。疼痛が消失後、痛みの再発が無い限り受診については必要ないと担当医より説明あり経過観察する。	・夜間、センサー反応やナースコールが鳴った際の優先順位を上げてコール対応する。 ・巡回時は、ご本人の安否確認以外にセンサー反応の有無と照射位置の確認まで行う。 ・日中、ハイテンション傾向の際は巡回時間を1時間から30分にして細目に行動確認する。 《経過》
2020.6.22	《経過》新型コロナウイルスの感染予防の 兼ね合いで入居時検診が遅れており、よう せいクリニックに受診する。残りの胸部レ ントゲンと採血を実施し、右肋骨の骨折の 既往を伝えるが異常なし。6/15 以降、動 作時に痛みの訴えも無く経過する。	事故後も、7月・8月とセンサー反応が無い状態で廊下に出てくることが1度ずつあったが、居室内に丸椅子を設置しており転倒なく伝い歩きしている。センサー照射位置を変更し、身体を起こした時点で反応するように変更した。
2020.7.8 8:00	朝食のため、ご案内しようと訪室するとご本人より「今さっき、そこで滑って転んだ。」と報告あり。ベッドで端座位の状態で落ち着いている状況にてそのままボディチェックを実施する。左足付け根に疼痛あるが、内出血や外傷はなし。疼痛は、立	事務所職員がキーパーソンに 電話連絡する≫ 居室でご本人からの申告で 8:00頃に転倒したと報告あ り経過観察したことを伝える。 昼食頃から痛みが出現してお

8:45	位時のみ出現するが歩行時は違和感ある程度で歩行可能。 看護師にて、再度ボディチェック実施。その際は、立位時と歩行時に荷重した際に痛みの訴えあり。腫脹・熱感は無く経過観察する。事務所職員から家族へ連絡するが応答なし。	り、受診の検討について相談する。痛みが悪化する場合は受診して欲しいとの意向あり、受診の方向で動くことを伝え了承を得る。
10:00	引き続き、腫脹・熱感は無く経過観察する。 安静を促すが、居室内も歩行して雑用をされて過ごされている。	
12:00	昼食時に、左股関節を指さされ痛みがある と訴えあり受診を視野に入れる。 車椅子対	《再発防止に向けての今後の対応》
14 : 00 15 : 45	応とし経過観察する。 居室で安静にしているが、端座位になって 新聞を読んでいる。引き続き痛みあり。家 族連絡し、玄クリニックへ受診の手配をす る。 左股関節痛のため、玄クリニックへ受診す	事故翌日 7/8(水)の 16:30 に事故防止のためのカンファレンス実施・起床の確認後、新聞を読んでいる時間で当日も同様の状況であった。身の回りの物を気にされ居室内の物をまとめたり
	る。レントゲン検査の結果、「左大腿頸部骨折」と診断される。治療には、手術を勧められ既往歴から在宅時のかかりつけ病院に紹介状を頂く。手術・入院目的で、翌日受診する様に Dr から指示を受ける。疼痛緩和のため、カロナールの処方あり。	することも日常の様子から想定される。落ち着かない際は、 巡回頻度を増やしながら必要なサポートを増やす。 ・ベッド上に物が散乱しており落としたものを拾う際も転倒
18 : 45	帰施され、車椅子対応のまま夕食摂取する。食後は安静に過ごされる。	のリスクが上がるのでベッド 周りを整理して、踏んで滑った
《経過》 2020.7.9	水野記念病院整形外科受診し、入院手術の調整をするが担当医より内服のフォローが日医大の方が良いとの理由で日医大へ救急車で搬送し入院治療となる。 水野リルビリテーション病院へ転院する。 入院期限が迫り退院前カンファレンスに参加。歩行器歩行可能まで回復される。 退院となる。骨折部位は完治しておりフォローアップの受診も必要ないとのこと。	り拾う動作からの転倒リスクを可能な限り軽減する。 【追加事項】 居室のナースコールを使用したりしなかったりで、移乗に不安ありベッドセンサー使用する。歩行は、車椅子と歩行器を使用し転倒に注意する。″

	退院後 1 週間経過し、生活 (支援) 状況安 定している。	
2020.9.5		
5:00	通常通りベッドで入眠される。居室トイレ 内排尿の跡あり	9:40、看護師からキーパーソンに連絡するが遠方で対応が
6:00 7:00 7:20	通常通りベッドで入眠される 通常通りベッドで入眠される通常通りベッ通常通りベッドで入眠されるが右前腕 に3×3cmの内出血が2箇所あり。止血 処置する。 朝食のお誘いのため訪問し食事拒否あり (ベッド上で覚醒)	遅れるとのことでご長女へ連絡。9:50、搬送先病院が確定した状態で再度長女へ連絡を入れ病院へ向かっていただく。転倒に至る経緯、状態を説明し施設の対応に委ねると返答される。 10:20、ご長女と合流する。
8 : 15 8 : 45	食のお誘いのため訪問し食事拒否あり(ベッド上で覚醒) 朝食のお誘いのため訪問すると、ベッド下に右側臥位の状態で転落している。額に	10・20、こ長女とロ流9つ。 診断結果を医師より直接伝え て頂いた。手術等は、後日専門 医と家族で調整となる。
	1 cmの剥離、右手首に2cmの剥離がある。意識混濁なくしっかりと返答、発語明瞭。KT:35.2、BP:110/60、PR:120、SPO2:99、低血糖症状も懸念されることでぶどう糖摂取しBS145。右下肢内転見られ過度な疼痛あり皮下出血、腫脹、熱感あり。	《再発防止に向けての今後の対応》 9月5日 16:00より事故防止のため臨時カンファレンス実施・移動時の事故であり、移動される目的はトイレが大半とい
8:50	出勤してきた看護師が状態確認する。意識 混濁ないが顔面蒼白。失禁あり。 看護職員より付き添いと状態確認を継続。 上記以外の外傷はなし。	うアセスメントができていた。 排泄間隔を把握し、事前に巡回 や声をかけていく。
9:15	救急車要請 ご家族へ連絡(キーパーソンは三女様だが遠方のためご長女が応対す	いざり移動による内出血等があった際は、本人の拒否があってもボディチェックをする。
9:40	る) 救急隊到着 東京洪誠病院へ搬送 ご 家族へ搬送先病院を連絡し病院へ向かう	毎時間巡回を行うが、ベッド上で覚醒されていた際は動く
9:50	(ご長女) 東京洪誠病院へ到着しXーPの結果、右大	危険性がありこまめな巡回が 必要。
10:20	腿転子下骨折と診断し入院となる。対応医が非常勤医師であり、術式説明が出来ない 為、後日担当医より説明。	・居室内はいざり移動だが、掴 まる場所を増やす目的で歩行 器を進行方向に設置する。

		リフィンさくら
《経過》 2020.9.8 9.15	【利用者の普段の様子】 認知症あるが環境適応の中で、居室内の移動はいざり移動だったため自立としていた居室以外の移動は、職員付き添いのもと歩行器で移動。 キーパーソンより電話連絡あり、手術内容・日程についてまだ決まっておらず連絡が病院からあったらすぐに連絡をいただけることとなる。 キーパーソンより電話連絡あり、14日の22:30頃に永眠されたとの報告あり。経過として、13日に病室で一時的な意識消失があり気管挿管されたが回復した。その後も、何度かレベルダウンがあった。在宅や施設でも既往の胃切除によるダンピング症候群はあったが、病院では最終的に心不全と診断されたとのこと。「入居後半年の施設生活だった、温かいご飯を食べ色々に知ります。」	・居室内、衣類等ご自身で散乱させてしまうことが多く、衣類や物が散乱した状態での移動は危険にて巡回時に整理する。 ・些細な物音(生活音等)にも、危険予測として訪問する。 ・センサーを設置し行動把握や迅速に支援が介入できるようにする。
	と親身にしてもらいお世話になりました。」との言葉を頂き 9/14 付で退去となる。	
0000000	ිර _ි	
2020.9.23		
7:43	起床支援時に、左足首に広範囲の腫脹・熱感・内出血を確認する。平常時は痛みの確認出来ず、圧痛に対して痛みの表情あり。	13:30、ご長男へ電話連絡し 骨折事故の状況と受診結果を 報告する。介助時の負荷による
7:55	離床し経過観察する。就寝時対応職員と夜 勤者に確認するが夜間は内出血が無かっ たと報告あり。	事故にて、不注意を謝罪する。 事故の状況については理解され、再発防止策と4週間後の
8:30	出勤した看護師にて状態確認する。7:43 確認時と同様の状況で、経過観察する。	再受診の結果を報告する旨を お伝えする。
9:34	職員2人介助でトイレ支援した際に、左足加重で疼痛を確認する。痛みの増強あり。	《再発防止に向けての今後の対応》
10:00	看護師にて再度状態確認し、腫脹・痛みの 増強あり玄クリニックへ受診となる。	9月23日 16:00より事
12:50	受診同行した看護師より電話連絡ありし ントゲン検査の結果、左足首外踝部(腓骨	ンス実施

		リノインさくら			
	顆上)骨折と診断を受ける。担当医より、	・フットレストに転落防止カバ			
	年齢相応の骨の脆さがあり何らかの捻じ	ーを取り付ける。			
	りの負荷による骨折と説明を受ける。	•移乗介助時に下肢の位置を確			
13:30	状況を再度整理、防犯カメラにて昨日就寝	認して、車椅子もベッド位置か			
10.00	前から起床時の様子を確認する。結果、共	ら平行にすることで 90℃の			
	用部で過ごされている。時間に異常は見当	旋回動作で移乗できるように			
	たらず。居室内移動時に、車椅子からフッ	統一する。			
	トレストが落ちたか車椅子からベッド移	・上下肢の脱力が強い際は、二			
	乗時に捻ってしまったと思われる。その	人介助で移乗介助を行う。			
	旨、キーパーソンのご長男へ骨折事故の状				
// & \text{\alpha} \text{\alpha}	況と検査結果を報告する。				
《経過》	玄クリニックへ受診。レントゲン検査の結	(AD)D : 75-04D 744 0 ++ 1-1-1-1			
2020.10.23	果、骨折部位が仮骨されてきているが完全	<経過:受診終了後の対応について>			
	に再形成されていないとのこと。荷重は引				
	き続き不可だがシーネ固定は解除され、再	• 11 月 20 日の受診結果を踏			
	度 1 ヶ月後に受診となる。	まえ11月28日にリハビリの			
	玄クリニックへ受診。レントゲン検査の結	評価を受けてトイレ支援と移			
	果、骨折部位の仮骨が付いて良い状態との	乗介助の検討をする。それまで			
11.20	こと。下肢への荷重についても許可がおり	は安全を取って現状の対応を			
	る。受診も今回で終了して良いとの指示あ	継続する。 <i>"</i> 			
	り。				
	ご長男へ通院結果を連絡し、今後はリハビ				
	リの評価を受けながら少しずつトイレ誘				
	導や介助方法を骨折前の対応に戻すこと				
	をお伝えする。				

2) 事故ヒヤリハット(件数)

大区分	怪我等	273	服薬関係	30	医療行為	9	対人関係	Ο
	出血	43	誤薬	4	経管栄養	0	利用者同士	О
	表皮剥離	46	忘れ	8	点滴関係	0	利用者と職員	О
	内出血	78	落下	9	バルン関係	7	情報管理	О
中区分	打撲	17	吐き出し	0	処置関係	1	所有物管理	О
	火傷	0	セットミス	6	未測定	0	機器操作	О
	誤嚥	3	その他	3	その他	0	その他	О
	異食	1						
	その他	85				その他(所在不明含む)	

3)権利擁護(苦情・虐待通報等)

日付	内容	対応	解決
4/5	リブインさくらの入居者が亡くな	ケースによりお伝え	左記対応で了解を得
	った際の送り出し方について入居	可能だが、今回は特に	る。
	者にどの様に説明をしているかを	説明をせず配慮でき	
	確認される。「父からは、お洒落な	なかったことを謝罪	
	お爺さんが亡くなったみたいだが	する。また、他界の場	
	何も知らされず寂しい思いをし	合は亡くなった方や	
	た。」とのこと。	そのご家族の意向も	
		あり、今後も事後報告	
		になることをご理解	
		いただく。	
4/18	職員立ち合いで、突然父親からライ	事前連絡せず驚かせ	左記対応で了解を得
	ン電話が来て「今日で最後になるか	てしまったことを謝	る。
	も」と元気のない声で滑舌も悪く連	罪する。電話操作を職	
	絡が来たとのこと。本当の状態を確	員介入のもと行う際	
	認したいと、事務所に電話連絡あ	に、体調不良について	
	り。家族も、今までこんな電話が無	連絡をする場合は事	
	かったのでパニックになってしま	前に状態を説明した	
	う。体調不良の連絡をさせるなら、	うえで、ご本人の説明	
	事前に施設から連絡が欲しい。本当	を聞けるように配慮	
	に具合が悪く、最後になるなら家族	することを伝える。	
	を連れて会いに行きたい。		
6/10	面会や差し入れの際に、家族2名で	不快な思いをさせた	左記対応で了解を得
	確認をしたが、近況報告をされる際	ことについて謝罪す	る。
	に母の呼び方で気になることがあ	る。呼び名について	
	る。同じ職員で3回目だったので	は、基本的に苗字でお	
	日常なのだと思い確認したい。毎	呼びしており、「この	
	回、母のことを「この人は・・・」	人」という表現につい	
	と説明をされる。普通なら「名字や	ては直ちにスタッフ	
	名前」で他のスタッフは言ってくれ	間で共有し改善する	
	る。家族間の中では「また、この人	ことを伝える。	
	は・・・」と言われたと話題になっ		
	ている。本人も「寂しい」と言い気		
	にしていたので改善して欲しい。		
11/7	面会時に、介護職員による散髪につ	ご家族としては、「良	左記対応で了解を得
	いて謝罪をする。経緯については確	かれと思って対応し	る。
	認中だが、本来は介護職員のサービ	ていただき、本人も納	
	ス範囲外の行為であり権利擁護や	得しているのなら怪	

リスクマネジメントの観点から不	我もしていないし今	
適切な対応だったことを謝罪する。	回は大丈夫です。」と	
	お言葉を頂戴する。ま	
	た、次回以降は入館制	
	限が緩和するまで訪	
	問理美容の申し込み	
	を依頼受ける。	
	引き続き権利擁護の	
	研修を続けつつ再発	
	防止に努めることと、	
	訪問理美容の対応を	
	しっかりと行うこと	
	をお伝えする。	

5、ミーティング・委員会

1)健康管理ミーティング

1. 総括

新型コロナウイルスの流行があり、入居者・職員のマスク装着・手洗い・うがい・手指消毒など感染防止に努めましたが、3月に陽性判定者が出て施設クラスターが発生しました。収束までに、入居者13名・職員8名の感染者が出ました。クラスター発生後は、入居者全員の居室対応、職員はガウン・N95マスク、ゴーグルを装着し感染拡大防止に努めました。

看取り支援では、3名の方が職員・ご家族が見守る中でごく自然な形で最期を迎えられました。 医療研修を定期的に行い、知識と手技の向上に努めました。

2. 重点目標に対する評価

(1) ご入居者の健康管理には、提携医療機関との連携が不可欠

取り組み内容	評価
①日々の観察・異常の早期発見に努める。	① 多職種で、より生活状況の変化等を速やかに共有して嘱託医に報告し、必要であれば受診・検査に繋なげました。日々の状態観察をして、早期発見と嘱託医・家族の連携や治療につなげました。
②継続的な治療が必要なご入居者に対しては、多職種での医療研修を実施。 ③入居者と一緒に健康目標を定める。	② 定期的に座学・実践研修を行い知識と技術力の向上に努めました。 ③ 毎月入居者懇談会にて目標の読み合わせをして意識向上に努めました。

日付	議案	出席者
4月14日	・医療研修 バイタル・血糖実践研修に進捗状況	●藤岡」で色油さくで
	・往診は1階ラウンジにて対応	中野 横山 藤本
	・往診契約書について	
5月15日	・嘱託医木村クリニック往診開始	●田川 ○中野
	・新入居者について	横山藤本本吉
	・ひかり城東クリニック主治医変更	
6月10日	・新入居者2名について	●中野○本吉
	・身体拘束関係書類について	田川横山藤本
	・新入居者面接について	
7月 8日	・職員手洗いうがい継続	●本吉 ○田川
	・救急対応研修について	中野横山藤本
	・居室の温度調整について	
8月12日	・入居者健康診断について	●田川 ○中野
	・服薬事故について	横山藤本本吉
	・新職員研修について	
9月 9日	・情報伝達について	●中野 ○本吉
	・新型コロナウイルスについて 徹底した感染予防	田川 横山 藤本
	• 医療研修より吸引実践研修進捗状況	
10月14日	・共用部大掃除について	●本吉 ○田川
	・看取り支援の振り返りについて	中野 横山 藤本
	・内服セットミス注意喚起	
11月11日	・インフルエンザ予防接種実施(入居者・職員)	●中野○○本吉
	・新職員医療研修について	田川 横山 藤本
	・入居者年末・年始の過ごし方について	
12月12日	・面会中止・オンライン面会について	●中野○本吉
	・看取り支援の振り返り	田川 横山 藤本
	・身体拘束解除について	
1月13日	・ 血糖測定器購入 各委員会にて説明	●中野○本吉
	・1階2階看護業務にていて	田川 横山 藤本
	・医療研修より見取り研修進捗状況	
2月12日	・服薬事故の確認	●中野○本吉
	• 医療研修より経管栄養実践研修進捗状況	田川 横山 藤本
	・嘱託医主治医変更について	
3月10日	・コロナワクチン接種にていて 16	●中野○本吉
	• 入居者健診実施	田川 横山 藤本
	・次年度健康目標の確認	

(2) 新型コロナウイルス等、高齢者施設の感染予防は最重要課題である

取り組み内容	評価
① 専門職として感染対策委員会と連携し	① 手洗いうがいなど推進してきたが、新型コ
感染予防に努める。	ロナウイルス陽性判定者が出て、施設クラ
	スターが発生しました。ご入居者13名、
	職員8名が感染しました。この結果を踏ま
	え、入居者・職員の健康管理(発熱・症状)
	の有無を確認に繋なげます。
② さくら会などを通じ、感染症に対する知識や対応策を啓発して行きます。	② 感染発生後は、マスク装着・うがい・手指消毒の実施を注意喚起し徹底しました。

(3) 死生観を大切に、ご入居者の生きる力を最大限に引き出す支援をする

取り組み内容	評価
① 看取り支援を希望される入居者に対し 「重度化対応と看取りに関する指針」 に基づき医療機関と連携し最期を住み 慣れた場所で支援をします。	① 入居者3名の看取り支援ができました。2 名の方が家族に見守られながら安らかに永 眠されました。
② 看取り支援における知識の向上、支援後の振り返りを行う。	② 各委員会にて看取り支援を振り返り、各自思ったこと、反省点を話し合う時間を設け終末期ケアの向上に努めました。

2) 支援管理ミーティング

1. 総括

権利擁護の視点により日々の支援、関わりに中で不適切な支援に発展しないよう取り組みを 行っていきました。支援であってはならない身体拘束、虐待(不適切な支援含む)の基本知識を 習得することを基本に支援者に伝達共有するシステムの構築を図っていきました。

また、個別支援を念頭に月単位で行っているアセスメント、モニタリングの意図を認識するために内容の精査や個別指導を図りストレングスを生かした生活支援が提供できるように育成していきました。ケアマネジメントを理解しアセスメント、サービス担当者会議、ケアプラン、モニタリングのサイクルを理解し優しさあり、質の高い支援が提供できるよう勉強会も行いました。 職員育成では入職職員の研修のあり方やプリセプターの育成方法を学び実践し専門的な支援者が育つよう情報交換を行っていきました。

2. 重点目標に対する評価

(1) ケアマネジメントサイクルを定着させ支援の標準化を図る

取り組み内容	評価
①PDCAを理解し、支援分野をサポートとした。特にケアプランに基づき支援展開を図ることを目標に意識付けした。 ②担当職員が行う、毎月のモニタリング、体重測定、福祉用具清掃などの管理を行っ	①②支援職員対象モニタリング、アセスメントを毎月行うため着眼点を説明したが、ケアマネジメントの理解まで至りませんでした。次年度はケアマネジメントの理解を中心に研修しケアプランを意識した支援、モニタリングを課題
た。 ③難しい対応や支援は、随時カンファレンスを行い担当職員と並行に支援方法を考えた。	としました。 ③困難な支援、大幅な支援内容の転換など居室 担当と協同し入居者支援をサポートする体制 は継続する

3) スマイルプロジェクト

1. 総括

今年度は法人で立ち上げられた笑顔チームの企画を中心に活動してきました。ボッチャって何?から始まり、普段の活動の中でボッチャにふれあい、体験してご入居者に知ってもらうことから始めました。徐々にボッチャという言葉が馴染み、楽しんで参加されるようになりました。今回のことをきっかけに、ボッチャを今後もレクリエーションの一つに加えていきたいと思っています。また、次年度も笑顔チームの企画や進行のサポートを継続していきたいと思っています。

2. 重点目標に対する評価

(1)毎月行っている制作活動に、目的とテーマを決める

取り組み内容	評価
①前年度から引き続き、制作活動内容のマンネリ化を払拭するため取り組み始めた。館内の装飾になるもの、月ごとにテーマを決めて制作担当者へ提案し内容を考案してもらう。	□月ごとにテーマがあることで、制作時にご入居者に季節感を感じていただく、話の話題のきっかけ作りとなっていました。完成した作品は廊下の壁面スペースに飾っています。前年度の12月から今年度の1月の一年間取り組み、制作活動内容のマンネリ化は防げたと思います。今後については継続するとなると同じテーマを繰り返すことになるため、一旦ここで終了とします。

(2) 口腔体操の充実を図り、口腔内衛生を保つ

取り組み内容	評価	
体操の時間に併せて行っている口腔体操の	6種類ある口腔体操を、新しいものに刷新す	
バリエーションを増やし、嚥下機能の維持向	ることで、マンネリ化せずに嚥下機能の維	
上に努める。	持、向上に寄与した。	

(3) 笑顔チームと連携し、「ボッチャ」イベント成功に向けて取り組む

取り組み内容	評価
① 「足立邦栄会創立 20 周年記念 スマイル杯 みんなでボッチャ大会」の告知、予選を行い事業所内の代表チームを決	①ご入居者にボッチャを浸透させることができた。参加するだけでなく、楽しみにされる方もおられました。また、交流の場にも
め決勝戦に進んだ。	なっていました。 職員間での浸透やフォロー体制、興味を持 ち職員も一緒に楽しむところまでは繋なが らなかったので次年度の課題とします。

3. 活動•運営報告

(1) 月次

			\ - \\
	活動・イベント・行事		運営・研修
4月	月替わり飲み物		
	ミロとピルクル		
5月	月替わり飲み物	□腔体操	更新
	玄米茶とカルピス(メロン)		
	ボッチャの紹介。各階ボッチャを行う。		
6月	月替わり飲み物	□腔体操	更新
	サイダーとロイヤルミルクティー		
7月	月替わり飲み物		
	レモンティとフルーツティ		
8月	月替わり飲み物		
	ファンタグレープとカルピス		
	夏限定企画 かき氷の提供、花火		
9月	月替わり飲み物		
	抹茶オレと午後の紅茶(ストレート)		

月 午後の紅茶 (レモンティ) とカルピス 巨峰 ル杯 みんなでボッチャ大会」告知 チームエントリー開始。 11 月替わり飲み物 ホットかりんといちごオレ 口腔体操 2種更新 「足立邦栄会創立 20 周年記念 スマイル杯みんなでボッチャ大会」予選開	0
巨峰 チームエントリー開始。 11 月替わり飲み物 口腔体操 2種更新 月 ホットかりんといちごオレ 「足立邦栄会創立 20 周年記念 スマイル杯みんなでボッチャ大会」予選開	
月 ホットかりんといちごオレ 「足立邦栄会創立 20 周年記念 スマイル杯みんなでボッチャ大会」予選開	
「足立邦栄会創立 20 周年記念 スマ イル杯みんなでボッチャ大会」予選開	
イル杯みんなでボッチャ大会」予選開	
イル杯みんなでボッチャ大会」予選開	
始。	
12 月替わり飲み物	
月 ゆず茶と午後の紅茶(ミルクティ)	
「足立邦栄会創立 20 周年記念 スマ	
イル杯みんなでボッチャ大会」予選終	
了。代表チーム決定。	
1月 月替わり飲み物	
生姜ハチミツとほうじ茶オレ	
「足立邦栄会創立 20 周年記念 スマ	
イル杯 みんなでボッチャ大会」決勝	
戦。	
代表チームは善戦の結果準優勝	
2月 月替わり飲み物	
カルピスとリンゴジュース	
3月 月替わり飲み物 □腔体操 2種更新	
カルピス(白桃)と梅こんぶ茶	

(2) 議案

日付	議案	出席者
	・事業計画読み合わせ	
	【笑顔チーム】ボッチャの道具購入について	●杉 ○笠原
4月10日	【制作】6月の制作のテーマについて	中野、橋本、
	制作作品の掲示報告	藤岡、本山
	【口腔体操】口腔体操の素案進捗状況	

		7/1/2016
5月15日	・メンバーの入れ替えについて【笑顔チーム】ボッチャのルール説明【制作】7月の制作のテーマ決め	●笠原 ○本山 杉、中野 橋本
	【口腔体操】口腔体操の刷新について	
6月12日	・夏限定の企画について 【笑顔チーム】今後の動向について ボッチャのポスター掲示について 【制作】8月の制作のテーマ決め、制作作品の掲示報告 【口腔体操】口腔体操の更新について	●本山 ○杉 笠原、橋本、藤 本
7月10日	・夏限定の企画について 【笑顔チーム】ボッチャのゲーム形式について 【制作】9月の制作のテーマについて制作作品の掲示報告 【口腔体操】今後の予定について	●杉 ○橋本 笠原、藤本、本 山
8月14日	・夏限定の企画の取り組み報告 【笑顔チーム】ボッチャの共通ルールについて 【制作】10月の制作のテーマについて 制作作品の掲示報告 【口腔体操】内容更新の予定について	●橋本 ○本山 笠原、杉、藤本
9月11日	・砂糖の消費量について 【笑顔チーム】ボッチャ大会に参加者募集について 【制作】11月の制作のテーマについて 制作作品の掲示報告	●本山 ○笠原 杉、橋本、藤本
1 0月9日	・ボランティアの上入れについて 【笑顔チーム】ボッチャの予選会について 【制作】12月の制作のテーマについて 制作作品の掲示報告、今後の制作活動について 【口腔体操】口腔体操の素案について	●笠原 ○杉 橋本、藤本、本 山
11月13日	砂糖の消費量についてどんぶり食器について【笑顔チーム】ボッチャ大会のエントリーチームについて【制作】制作作品の掲示報告【口腔体操】口腔体操の刷新報告	●杉 ○橋本 笠原、本山、藤 本
12月11日	・夕方の時間帯の使い方について【笑顔チーム】ボッチャ大会の決勝戦日程についてオンライン中継のリハーサルについて【制作】制作作品の掲示報告【口腔体操】実施後のサイン漏れについて	●橋本 ○本山 笠原、杉、藤本

1月8日	・月替わり飲み物の提供方法について・夕方の時間帯の使い方について・共用部の飾り棚について【笑顔チーム】ボッチャ大会の代表チームについて【制作】制作作品の掲示報告	●本山 〇笠原 杉、橋本、藤本
	【口腔体操】次回更新予定の進捗状況	
2月12日	・事業計画について【笑顔チーム】ボッチャ大会の報告今後の笑顔チームの取り組みについて【口腔体操】更新予定の素案について	●笠原 ○杉 橋本、藤本、本 山
3月12日	・事業報告について【笑顔チーム】クイズ大会について【制作】制作作品の掲示報告【口腔体操】刷新報告について	●杉 ○橋本 笠原、藤本、本 山

4)総合支援委員会

1. 総括

「声掛け、会話で親しみのある支援」をスローガンとして取り組みました。コロナ禍で不安 や心配になるご入居者も多く、声掛けは安心して頂くために非常に大事なことでした。声の掛 け方にも注意し、目線を合わせゆっくり冷静にご入居者に分かりやすく話すことを心掛けまし た。また、総合支援員会を中心に足浴やハンドマッサージを行う「ふれあいのとき」を通じて リラックスしながら会話を楽しんだご入居者も多かったです。

2. 重点目標に対する評価

(1) 余暇活動の充実

取り組み内容	評価
①ご入居者と職員がともに楽しめ、共に	①コロナ禍で外出活動の中止やボランティア
 学べる余暇活動を提供した。	の受け入れの縮小に伴い、内部活動を増やしま
	した。書き物が好きな方は書道に、歌うのが好
	きな方はカラオケに参加され楽しんでおられ
	ました。
	また、テレビでユーチューブが見られるように
	なり、クイズや体操などに役立て活動の幅が広
	くなり、ご入居者と楽しめる時間が増えまし
	た。
	ですが、上記に触れたとおりボランティアの受

け入れが少なくなったため、民謡や舞踊が好き
な方に提供が出来ませんでした。
今後は、コロナ禍でも提供できるような感染防
止策や新しい試みを検討していきます。

(2)排泄支援

取り組み内容	評価
①排泄支援は、デリケートな支援であり配	①排泄マニュアルに準じ、配慮ある支援を再確
慮ある支援を行った。その為に環境、手技、	認しました。羞恥心を軽減し、意識させないさ
声掛け、物品活用の工夫を行い不快のない	りげない支援を心掛けました。
支援を行った。個々の身体機能に応じ排泄	おむつ使用は、最終手段と捉え個々の機能をア
形態を検討し「自然な形での排泄」を念頭	セスメントし可能な限りのトイレ支援を行い
に、おむつ使用は慎重に協議した。排泄動	ました。生理的動作も運動の一環と捉え、大幅
作も機能維持の方法と捉えた検討した。	な機能低下には至らず、排泄もトイレを使用す
	ることで不快の少ない印象でした。今後も配慮
	ある関わりで支援をすることや、個別排泄を継
	続課題とします。

(3)入浴支援

取り組み内容	評価
①ご入居者と職員が共に楽しめる空間に	①恒例となったイベント浴では、"思わず食べ
なる環境作りを心掛けた。	ちゃいたくなるお風呂"をテーマに、入浴剤で
	はなく茶葉や果物などの変わり湯を行いまし
	た。ご入居者に変わり湯を選んでいただく"選
	べるお楽しみ浴"も、昨年に引き続き実施し今
	までとは、一風変わった入浴を提供することが
	でき、喜んで頂くことができました。

(4) 食事支援: ご入居者に楽しんでもらえるよう、食事中の会話を大切にする

取り組み内容	評価	
①食事中の会話を大切にして苦手なもの	①食事に興味を持っていただける様に職員か	
でも勧められることで食事に興味を持っ	らの声掛けだけでなく、他のご入居者にも話	
て楽しんでいただけるようにする。楽しん	しを振りながら美味しく召し上がっていた	
でもらえる一つとして定期的に炊き込み	だけるように努めました。	

ご飯、おにぎりの提供を行う。

②園芸クラブで育てた野菜を糠床に漬けて、ご入居者に手作りの味を楽しんでいただく。

3月には、新型コロナウイルス蔓延により、 リビングでの食事は支援や見守りが必要な ご入居者とし、ご自分で召し上がられるご入 居者は居室に食事を配膳する形とさせてい ただきました。今後、リビングという場での 食事の提供方法(感染対策期間中の黙食等)に ついて、感染症を踏まえた対策も次年度の課 題と考えています。

②園芸クラブで作った野菜は、収穫時期などにより定期的には提供できませんでした。行事食のメニューに提供することもありました。時期により、衛生面に配慮して収穫した野菜ではなく、スーパーで購入したものを漬け込んで提供しています。

3. 活動•運営報告

(1) 月次

	活動・イベント・行事	運営・研修
4月	シューズメンテナンス	認知症
5月	ふれあいのとき	法令遵守研修
6月	ふれあいのとき	服薬手順の再確認
		スタンダードプリコーション研修
7月	シューズメンテナンス	救急対応研修
	ふれあいのとき	
8月	ふれあいのとき	コーチング研修
9月	ふれあいのとき	服薬手順の再確認
		感染予防チェックリスト
10	シューズメンテナンス	ノロウイルス研修
月		
11		インフルエンザ研修
月		

12	ふれあいのとき	服薬手順の再確認
月		身体拘束研修
1月	シューズメンテナンス	服薬手順の再確認
		看取り研修
2月		経管栄養研修
3月		服薬手順の再確認
		ハラスメント研修

4. 議案

日付	議案	出席者
4月16日	・事業計画書の読み合わせ ・事業報告書の締め切りについて ・ふれあいのときについて 【余暇】5月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、おやつ作りについて 日曜日の活動について 新型コロナウイルスの影響と活動について (給食】おにぎり「あおさ」 炊き込みご飯「九州かしわ飯」 昼食のお米について 【入浴】5月のイベント浴「しょうぶ湯」 【排泄】3月オムツ類集計について 清拭(おしりふき)について おむつ、リハビリパンツのサイズについて 【看護】新型コロナウイルス対策について 看取り支援の振り返り	●橋古子野合山 である 大玉 しゅう

		リフィンさくら
	・服薬の手順について・ふれあいのときについて・委員会構成について【余暇】6月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、	
	おやつ作りについて 6月の外出は中止、外部の方に関しては調整中 【給食】おにぎり「かつお」	●古澤 利樹○小野 大悟金子 太一
5月21日	炊き込みご飯「しらす」	落合 玉蘭 橋本 徹司
	【入浴】6月のイベント浴は「レモンの湯」果実使用 【排泄】4月オムツ類集計について	横山 しゅう
	オムツ、リハビリパンツのサイズについて	
	【看護】往診の実施場所について	
	歯科往診の時間短縮について	
	うがい、手洗い、マスクの継続について	
6月18日	・余剰の時の業務確認方法について ・委員会指針の読み合わせ ・買い物外出ができませんので、お菓子の購入のお願い ・権利擁護とプライバシーを持って支援にあたる 【余暇】7月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、おやつ作り 体操の時間や質について 【給食】おにぎり 「博多明太子」 炊き込みご飯「牛めし」 【入浴】7月のイベント浴は「濃厚ピーチの香り湯」 入浴方法について 【排泄】5月オムツ類集計について 排泄手順について 【看護】梅雨の時期のためご入居者の清潔と室温湿度の 調整に配慮する	●古澤 利樹 ○金子 太一 落合 玉蘭 柳澤 滋 田川 恵子
7月21日	・ご入居者の重大事故にてついて 【余暇】8月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、おやつ作り 【給食】おにぎり「おにぎり男梅」 炊き込みご飯「だしかまめし」 【入浴】8月のイベント浴「ミントの湯」 【排泄】6月オムツ類集計について 【看護】区内にコロナ感染者が出た通知 ご入居者の便秘傾向、改善方法について	●金子 太一 ○落合 玉蘭 古澤 利樹 柳澤 滋 橋本 徹司 田川 恵子

		リブインさくら
	各マニュアルの見直しについて	
	【余暇】9月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラ、	●落合 玉蘭
	おやつ作り	〇柳澤 滋
	【給食】おにぎり「おかかチーズ」	古澤 利樹
0.5.4.0.5	炊き込みご飯「豚めし」	金子 太一
8月18日	嗜好調査及び栄養スクリーニングについて	橋本 徹司
	【入浴】9月のイベント浴は「選べる!イベント浴」	田川恵子
	【排泄】7月オムツ類集計について	
	排泄支援動作に関するリスク	
	【看護】新型コロナウイルス感染について	
	・事業計画書、上半期の成果反省、下半期の目標	
	・ご入居者の重大事故について	
	• 看取り支援の振り返り	
	【余暇】10月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、	.
	おやつ作り	●古澤の利樹
	外出活動は中止だがドライブは実施可能	│ ○橋本 徹司
	【給食】おにぎり「6つの海の味」	金子太一
9月15日	炊き込みご飯「栗きのこ」	落合 玉蘭
	【入浴】10月のイベント浴は「リンゴの湯」	柳澤 滋
	【排泄】8月オムツ類集計について	田川 恵子
	マニュアルに準じた排泄支援の見直し	
	オムツサイズの適正、オムツ交換時のリスク	
	【看護】ご入居者の足の浮腫みについて	
	飲水量について	
	・ご入居者の重大事故について	
	【余暇】11月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ	
	おやつ作り	●橋本 徹司
10月20日	【給食】おにぎり「うなぎ」	○古澤 利樹
	炊き込みご飯「松茸」	金子太一
	ご入居者のトロミについて	落合玉蘭
	【入浴】11月は選べるイベント浴は「紅茶の湯」	柳澤 滋
	【排泄】9月オムツ類集計について	田川 恵子
	オムツ、パットの変更について	
	排泄支援時の注意点	
	【看護】車椅子やトイレに座っている方の防寒について	

		_ ソノインさくら
	・次年度の事業計画のスローガンを次回までに考える	
	・勤務中の所持品と身だしなみについて再確認	
	・記録/施設掲示板の表現について再確認	 ●古澤 利樹
	【余暇】12月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ	〇金子 太一
	おやつ作り	落合 玉蘭
	【給食】おにぎり「松茸」	733 工機 1 1 1 1 1 1 1 1 1
11月17日	炊き込みご飯「舞茸山菜」	新井 あいか
	【入浴】12月のイベント浴は「ゆず湯」	田川 恵子
	ご入居者の体力を考えての入浴順を決める	LE711 /6(3
	【排泄】10月オムツ類集計について	
	パットの特性について尿漏れ防止の説明	
	【看護】インフルエンザの予防接種完了	
	新型コロナウイルス対策について	
	・ご入居者の看取り支援について	
	・総合支援委員会の事業計画のスローガンの決定	●金子 太一
	・在宅酸素などの備品について	〇落合 玉蘭
	【余暇】1月の行事、制作活動、誕生日外食、料理クラブ	古澤 利樹
	おやつ作り	柳澤 滋
12月15日	【給食】おにぎり「わさふり」	橋本 徹司
	炊き込みご飯「検討中」	田川恵子
	【入浴】1月のイベント浴は「選べるお楽しみの湯」	
	【排泄】11月オムツ類集計について	
	トイレ、排泄支援について	
	【看護】看取り支援の振り返りついて	
	・お菓子の袋について	
	・支援環境の乱れについて	
	・玄関自動ドアについて	
	・マイクロバブルについて	●柳澤 滋
	【余暇】2月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ	〇橋本 徹司
1月19日	おやつ作り	古澤 利樹
	【給食】おにぎり「博多明太子」	金子 太一
	炊き込みご飯「梅香る山椒」	落合 玉蘭
	【入浴】2月のイベント浴は「みかんの香り湯」	田川 恵子
	ご入居者の入浴方法についてカンファレンス実施	
	【排泄】12月オムツ類集計について	
	ご入居者の排泄、トイレ支援について	
	【看護】1・2Fのフォローについて	
	ご入居者の窒息と食事形態の変更について	

・事業計画書と事業報告書について ・ ご入居者急変時等の応援依頼について ・ 力ビキラーやパイプユニッシュの持ち出しについて ・ 緊急事態宣言解除後の面会、活動について ・ さ入居者の事故について ・ おしぼり配布上注意 【余暇】3月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、 おやつ作り 体操について 【入浴】3月イベント浴は「選べるお楽しみの湯」 【給食】おにぎり「たらこ」 炊き込みご飯「牛飯」 【排泄】1月オムツ類集計について 環境に配慮した排泄支援 【看護】特になし ・ 新卒職員の育成について ・ 施設経費の質い物レシートについて ・ ドイレのつまりについて ・ ドイレのつまりについて ・ で入居者の歩行のヒヤリハットについて ・ センサー使用書のセンサー作動チェックについて ・ センサー使用書のセンサー作動チェックについて ・ を要報告書について説明 【余暇】4月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、落合 玉蘭 おやつ作り 【給食】おにぎり「検討中」 炊き込みご飯「検討中」 炊き込みご飯「検討中」 「入浴】4月のイベント浴は「岡山の名湯 美作湯原の湯」 【排泄】2月のオムツ類集計の集計について ご入居者の夜間排泄についてカンファレンス行う これまずについてごろに著していてこれを実の自た終わたちゃたととしまずについて これに表していてこれていてこれを実の自た終わたちゃたととしまずについて これに表していてこれで表した。これに表していてこれていてこれで表した。これに表していてこれていてこれに表していてこれに表していてこれに表していてこれに表していてこれに表していてこれを実の自た終わたちゃたととしまずについてこれに表していてこれに表していてこれに表していてこれに表していてこれに表していてこれに表していてこれに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していて、これに表していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい			サノインさくら
 【看護】特になし ・新卒職員の育成について ・施設経費の買い物レシートについて ・トイレのつまりについて ・ご入居者の歩行のヒヤリハットについて ・センサー使用書のセンサー作動チェックについて ・事業報告書について説明 「余暇】4月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、落合 玉蘭 橋本 徹司	2月16日	 ご入居者急変時等の応援依頼について ・カビキラーやパイプユニッシュの持ち出しについて ・緊急事態宣言解除後の面会、活動について ・ご入居者の事故について ・おしぼり配布上注意 【余暇】3月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、おやつ作り 体操について 【入浴】3月イベント浴は「選べるお楽しみの湯」 【給食】おにぎり「たらこ」 炊き込みご飯「牛飯」 	●橋本 徹司 〇古澤 利樹 金子 太一 落合 玉蘭 柳澤 滋
・新卒職員の育成について ・施設経費の買い物レシートについて ・トイレのつまりについて ・ご入居者の歩行のヒヤリハットについて ・センサー使用書のセンサー作動チェックについて ・事業報告書について説明 ・事業報告書について説明 【余暇】4月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、 落合 玉蘭 橋本 徹司 田川 恵子 炊き込みご飯「検討中」 【入浴】4月のイベント浴は「岡山の名湯 美作湯原の湯」 【排泄】2月のオムツ類集計の集計について ご入居者の夜間排泄についてカンファレンス行う		環境に配慮した排泄支援	
 ・施設経費の買い物レシートについて ・トイレのつまりについて ・ご入居者の歩行のヒヤリハットについて ・センサー使用書のセンサー作動チェックについて ・事業報告書について説明 (余暇) 4月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、 落合 玉蘭 橋本 徹司 田川 恵子 「給食」おにぎり「検討中」 (入浴) 4月のイベント浴は「岡山の名湯 美作湯原の湯」 【排泄】2月のオムツ類集計の集計について ご入居者の夜間排泄についてカンファレンス行う 		【看護】特になし	
これにもの多体能力にあったドイレ文族について	3月16日	 ・施設経費の買い物レシートについて ・トイレのつまりについて ・ご入居者の歩行のヒヤリハットについて ・センサー使用書のセンサー作動チェックについて ・事業報告書について説明 【余暇】4月の行事、制作活動、誕生月外食、料理クラブ、おやつ作り 【給食】おにぎり「検討中」 炊き込みご飯「検討中」 【入浴】4月のイベント浴は「岡山の名湯 美作湯原の湯」 【排泄】2月のオムツ類集計の集計について 	〇金子 太一 落合 玉蘭 橋本 徹司
【看護】看取り支援の振り返りについて		【看護】看取り支援の振り返りについて	

5)環境美化委員会

1. 総括

主に施設の環境整備・設備管理・清掃リネン関係の管理・施設内掲示物など、ご入居者に間接的に関わる支援について検討・発案を行います。

「住まいであることを意識し、事業所内の清潔、設えに配慮した気持ちのよい環境作り」を 掲げました。ご入居者の住まいとなる居室内の環境整備に加え、不備や故障箇所がないか常に 確認をしています。前年度は新型コロナウイルスの感染拡大により一部の衛生用品が品薄状態 となり、納品までに時間を要し在庫不足に近い状況があったので、今年度はそのような事態に ならないように先々のことも予測しながら在庫管理をしつつ確保できるように動きました。職員だけでなくご入居者にも当面、感染症対策は継続しながら施設での暮らしを考えていかなければなりません。感染症を予防するためにできること、必要なことは何か、ご入居者にも協力をしていただくことは何かを考えていくことも課題の一つとなります。

2. 重点目標に対する評価

(1) 居室清掃だけでなく、朝起きたときのベッドメイキングや居室内の環境整備をする

取り組み内容	評価
①居室清掃以外でも巡回の際には、居室内の環境が整っているか確認を行う。②居室清掃で使用する清掃道具などの物品管理を行う。③共用部、居室の大掃除の管理や調整を行う。	①ご入居者一人ひとりの身体状態に合わせて 動線上に障害となるような物がないか、過ご しやすい環境となるように努めました。ま た、感染症予防のため居室はもちろんのこ と、共用部の換気もこまめに行いました。 ②定期的に交換を行うことができました。 ③上半期は、比較的予定通りに実施することが できましたが、下半期は新型コロナウイルス 蔓延により予定内に終えることができませ んでした。次年度に入ってから再開する予定 です。

(2) 設備に破損や不具合があった場合は、ご入居者の生活に影響がでないよう、速やかに修理・改善に努めます。

取り組み内容	評価
①開設から建物が13年経過している為、 計画的に修繕や入替を行う。	①共用部のエアコンのオーバーホールを行い ました。また、夏季のケアステーション内の エアコン冷気が逃げないようパーテーショ ン、ロールカーテンの設置をしました。
②外部業者との調整を速やかに行う。 ③居室エアコンの入替えを行う。	②設備に破損や不具合があった場合は、優先順位を考え、速やか対応に努めました。 ③全居室のエアコンの入替を行いました。

(3) 物品の在庫管理を徹底し、計画的に在庫不足にならない体制の維持をする

取り組み内容	評価
①物品を切らさず発注、在庫管理を行う。	① 新型コロナウイルスの影響のため、納品期
	日に制限があり事務所と相談しながら在庫
	不足にならないよう多めの発注・管理を行
	い不足になる状態は回避できました。
②取り出しやすいように物品庫の整理整	

北西!	レッギー	ナセ	仁	=	
収貝(上補	元と	1丁	ン	o

③おしぼり機のメンテナンスを月2回行う。

- ② 上記に伴い、在庫が多くある状態となるため空き居室を利用し管理、整理を行いました。
- ③ メンテナンス、水抜きを行い不具合はありませんでした。

(4) リネン類をスムーズに持ち出せるよう、リネン庫の整理整頓、在庫管理を行う

	取り組み内容	評価
1	週 1 回の通常リネン交換、年 2 回の掛	①10月より全居室のマットレスが耐久性に
	布団交換、マットレスの定期的交換を	優れているものへ切り替えたことで定期的
	行う。	に行っていたマットレスの交換はなくなり
		ました。6月と10月には掛布団の衣替え
		を行い、通常のリネン交換と2ヶ月に一度
		リネンの全交換を実施できるよう管理しま
		した。
2	リネン交換時には環境整備を行い、ご入	②リネン交換時には、換気をしながら行い、
	居者が過ごしやすい居室になるように 整える。	ナースコール、センサーの位置及び作動確
	並ん る。	認とベッド周りの安全が確保されているか
		の確認を行いました。

(5) ご入居者の生活の証である写真を活用しながら、思い出を振り返るきっかけの場となるよう、活動としてポスター及びアルバムの制作を提供します。

NOT THE SECOND TO THE SECOND S			
取り組み内容	評価		
①過去3ヶ月分の写真を基に、ポスター作りとアルバム作りを行う。	①各フロア予定通りポスター作り・アルバム作りは行うことができました。		
②過去のアルバムを見ることで、施設生活の思い出を振り返り、共通の思い出を共有する場を提供する。	②新型コロナウイルスの影響で、外出活動が無くなり、写真にも偏りが出てしまいました。 過去のアルバムを見る機会を作る事で思い 出を振り返る事ができました。		
③ポスター作り、アルバム作りを通して、 ハサミを使う、セロテープを切るといっ た日常生活動作の機会を作り機能維持 も目的に、ご入居者一人ひとりが作業を 分担することで、皆で一つの物を作る楽 しさを提供する。	③制作の際に ADL に応じて作業分担したことで、ご入居者同士で協力し合う場面が多く見られました。		

(6)屋上に「お花畑を作ろう」をテーマに園芸クラブを行う

取り組み内容	評価
①季節の花々や野菜の栽培を行う。	①今年は、さつま芋が豊作の年になりました。
	ご入居者へさつま芋ご飯を提供し、大変喜ば
	れていました。花壇には花々でいっぱいに
	し、目で楽しんでいただきコンテナには葉物
	野菜を植えるなどをして土に触れる機会を
	作りました。
②毎年恒例の梅干し、らっきょう作りを	②数年取り組んでおり、園芸クラブの大事な活
行う。	動となっており、ご入居者も昔を思い出しな
	がら楽しんで取り組まれていました。できた
	ものは基本的に調理・提供しています。
③ぬか漬け作り	③行事食の際には、きゅうり・大根・山芋など を漬けて提供しました。糠床も作り始めて 10年以上が経ち、年々深い味わいになって きています。

(7) 清掃洗濯として、主に施設内外の清掃及びゴミ置き場や駐車場の清掃をする

取り組み内容	評価
①ゴミ置き場の整理整頓を行う。	①ゴミ置き場の清掃を心掛け、施設内外の清掃についても近隣の方々に迷惑をかけないよう、こまめに掃き掃除をしました。また、感染症対策のため感染物の取り扱いに関して二次感染へとつながらないように分別の徹底に努めました。
②屋上の緑地スペースの管理を行う。	②園芸クラブと連携して季節の花、野菜作りが 円滑にできるよう事前に草むしりなど土壌 を整え取り組むことができました。
③洗濯乾燥機、洗濯物の管理を行う。	③乾燥機のメンテナンスを毎日実施しました。 洗濯物についても、名前を確認し返却ミスの ないように努めました。

3. 活動•運営報告

(1) 月次

	活動・イベント・行事	運営・研修
4月	2階ポスター作り、アルバム作り	トイレブラシ、清掃用スポンジ交換
		1・2階 リネン全交換
		個別支援リスト見直し 道具箱確認
5月	1階ポスター作り、アルバム作り	居室大掃除
		トイレブラシ交換
		3階リネン全交換
		個別支援リスト見直し 道具箱確認
6月	3階ポスター作り、アルバム作り	衣替え
		トイレブラシ、清掃用スポンジ交換
		1・2階 リネン全交換
		薄掛け布団へ交換
		個別支援リスト見直し 道具箱確認
7月	2階ポスター作り、アルバム作り	トイレブラシ交換
		3階リネン全交換
		個別支援リスト見直し 道具箱確認
8月	1階ポスター作り、アルバム作り	トイレブラシ、清掃用スポンジ交換
		1・2階 リネン全交換
		個別支援リスト見直し 道具箱確認
9月	3階ポスター作り、アルバム作り	共用部大掃除
		トイレブラシ交換
		3階リネン全交換
		個別支援リスト見直し 道具箱確認
10	2階ポスター作り、アルバム作り	衣替え
月		トイレブラシ、清掃用スポンジ交換
		1・2階 リネン全交換
		厚掛布団へ交換
		個別支援リスト見直し 道具箱確認
11	1階ポスター作り、アルバム作り	居室大掃除
月		トイレブラシ交換

		3階リネン全交換	
		個別支援リスト見直し 道具箱確認	
12	3階ポスター作り、アルバム作り	トイレブラシ、清掃用スポンジ交換	
月		1・2階 リネン全交換	
		個別支援リスト見直し 道具箱確認	
1月	2階ポスター作り、アルバム作り	トイレブラシ交換	
		3階リネン全交換	
		個別支援リスト見直し 道具箱確認	
2月	1階ポスター作り、アルバム作り	トイレブラシ、清掃用スポンジ交換	
		1・2階 リネン全交換	
		個別支援リスト見直し 道具箱確認	
3月	3階ポスター作り、アルバム作り	共用部の大掃除	
		トイレブラシ交換	
		3階リネン全交換	
		個別支援リスト見直し 道具箱確認	

(2)議案

日付	議案	出席者
4月 7日	 事業計画読み合わせ 個人情報の管理について アルコール消毒の扱いについて 看取り支援の振り返り 【設備】電子錠の修理の日程について 【美化】汚物室の清掃について 【リネン】リネン全交換、マットレス交換予定の報告 【園芸】花植え、夏野菜の苗植えについて 【清掃】お茶用ポット洗浄用のスポンジについて 	●藤田○丹保 小泉、杉、 首藤、 田川、畠山、 本吉
5月 5日	・接遇マナー行動基準、節電への取り組みの内容の見直し 【設備】製氷機の修理について 【美化】全フロアの汚物室清掃報告 居室大掃除について 【物品】GW期間中の物品の配送について 【リネン】リネン全交換、マットレス交換予定の報告 【園芸】花の種植え、野菜・果物の収穫について	●丹保 ○杉 小泉、田川、 畠山、 藤田、本吉

		<u> リノインさくら</u>
	・委員会の指針の説明、事業計画読み合わせ	
	・服薬手順の再確認・転倒事故の振り返り	
	・委員会設定曜日の変更について	
	【設備】修繕箇所の日程の報告	●杉 ○畠山
6月 4日	【美化】衣替えについて	小野、神谷、
	【リネン】リネン全交換、マットレス交換予定の報告	首藤、藤田、
	【園芸】らっきょう、梅干し作りについて	本吉、横山
	【清掃】屋上の草むしりについて	
	【医療】手洗い・うがい、マスク着用について	
	I VH者の留意点について	
	・事故報告の振り返りについて	
	【設備】エアコンの入れ替え工事について	●畠山○小野
7月16日	【リネン】リネン全交換、マットレス交換予定の報告	神谷、杉、
7,5100	【園芸】花植え、種植え、梅干し作りについて	藤田、本吉、
	【清掃】お茶ポット用のスポンジ交換について	横山
	【医療】往診のやり方について	
	・内出血の事故について	
	・マニュアルの見直しについて	
	【設備】防犯カメラ設置予定について	●小野○藤田
8月20日	【園芸】ブロッコリーの苗植え、生け花作りについて	神谷、首藤、
	【清掃】駐車場周りの清掃について	杉、畠山、
	【医療】服薬事故の注意喚起	本吉、横山
	コロナウイルス感染症の注意喚起	
	・砂糖の消費量について	
	・転倒事故の振り返り ・看取り支援の振り返り	
	【設備】共用部のエアコン清掃予定について	●藤田○神谷
9月17日	【美化】共用部の大掃除について	小野、首藤、
	【園芸】さつまいもの収穫について	杉、畠山、
	【清掃】掃除機の使用について	本吉、横山
	【医療】水分補給について ・浮腫について	
	・砂糖の消費量について	
	・食事の盛り付けについて	
	・厨房職員からの要望について	
	・事業計画中間報告について	●神谷 ○杉
10月15日	・重大事故の振り返りについて	小野、畠山、
	【設備】共用部のエアコン、ロスナイ換気清掃予定について	藤田、横山
	【美化】居室大掃除について	
	【園芸】パンジーの花植え、野菜の種植えについて	
	【医療】感染症対策中の看取り支援、急変時の対応について	
L		<u>l</u>

		リブインさくら
	・勤務中の所持品について	
448400	・記録、発信内容の表現について	
	【設備】ロスナイ換気の清掃日程の報告	●杉 ○畠山
	【美化】居室大掃除について	小野、神谷、
11月19日	【物品】年末時の物品発注について	首藤、藤田、
	【園芸】クリスマスリース作り、お正月飾り作りについて	本吉、横山
	【医療】インフルエンザ予防接種実施状況報告	
	【その他】道具箱のハサミについて	
	・服薬手順の再確認	
	・年末年始の入浴について	
	・重大事故が起きた場合の流れの説明	
	・看取り支援の振り返り	
	【設備】厨房キッチンの清掃、細菌検査の日程報告	●畠山○小野
12月17日	エレベーター修理予定について	神谷、首藤、
	【美化】居室大掃除について	杉、藤田、
	【園芸】花植えについて	本吉、横山
	【掲示】活動時の写真撮影について	
	【清掃】共用トイレ、汚物室のトイレブラシケースの交換	
	【医療】感染症対策の注意喚起	
	・服薬手順の確認(実践)	●小野○藤田
	玄関の自動ドアの切り替えについて	神谷、首藤、杉
1月21日	【物品】物品の在庫数の報告について	自 自 自 自 自 自 自 自 自 自 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
	【園芸】花壇への花植えについて	
	【掲示】担当者の引継ぎについて	Ш
	・緊急時朝食マニュアルについて	
	・入居者の急変時の応援依頼について	
2月18日	・事業報告、次年度事業計画について	
	・ 2階での看護との連携について	●神谷 ○杉
	・事務所保管物品の管理について	小野、畠山、横山
	【設備】設備点検及び消防訓練の日程報告	
	【美化】居室クローゼットの取手、ドアノブの点検	
	【園芸】じゃがいもの種芋植え、花壇に花植えについて	
	【掲示】担当者入れ替えに伴い引継ぎについて	
	【医療】原因不明の事故について	

	・服薬手順の再確認・事業報告について	
	・小口現金について ・看取り支援の振り返り	●藤田○神谷
08408	【設備】エレベーター点検日について	小野、首藤、杉
3月18日	【美化】共用部の大掃除について	畠山、本吉、
	【園芸】花植えについて	横山
	【清掃】駐車場、施設周りの清掃予定	

6)感染対策委員会

1. 総括

「感染症を持ち込まない」・「感染症を広めない」という理念のもと、活動を行いました。職員一人一人に、感染対策に対する理解を深めることに力を入れました。

新型コロナウイルス陽性者が出てしまい、そこから施設クラスターに発展してしまいました。感染対策委員として、感染症拡大防止に努めることができず、早めの対応を取れなかったことが悔やまれることです。

2. 重点目標に対する評価

(1)感染予防策として、手洗いうがいの重要性の啓発と実施に努める

取り組み内容	評価
新型コロナウイルス対策のため、通年で 嗽・手洗いの習慣を強化、促しを行う。	チェック表を活用して、嗽・手洗いに対する意 識向上は図れました。
また、嗽・手洗いの正しいやり方、有効性、 必要性をご入居者、職員共に説明する機会 を設け、感染の防止に取り組んだ。	結果として、ご入居者、職員と新型コロナウイルス感染者が出てしまいました。 更なる意識の向上と、こまめな嗽・手洗いだけでなく、環境整備やマスク着用の徹底が必要と思われます。

(2) 職員間での感染予防の意識向上に努める

取り組み内容	評価
職員間の感染対策の向上。目につかない所	残念ながら新型コロナウイルスによる、施設ク
の清掃に関しても清潔保持に努めた。	ラスターが発生して、対応が後手になってしま
	いました。
	振り返ると、「ここをもっと気を付けていれば」
	と悔やまれる対応がありました。「持ち込まな
	い」の対応に過信せずに、日々のマスク着用や
	飛沫防止の対策等、再度反省点を徹底的に洗い
	出し再発防止に注力します。

(3) 感染関連情報を適宜キャッチし、職員へ毎月発信することで感染対策の意識向上を図る

取り組み内容	評価
新型コロナウイルス感染症予防に関する、	マスク着用有無での飛沫率や、区内の感染状況
ニュースや行政からの情報、近隣施設とも	を施設掲示板や入居者懇談会で共有しながら、
情報共有しながら意識強化を図った。	その時々の情勢やリスクの強弱について把握
	し注意喚起を促しました。

(4) ノロウイルスの蔓延防止、感染経路遮断に努める

取り組み内容	評価
①嘔吐処理研修の実施及びノロウイルス	①マニュアルを更新しながら、適切な嘔吐処理
研修を行った。	研修が継続できています。今年度も感染事例 なく経過しました。
②嘔吐処理物品の用意・補充がされている かの確認を行った。	②毎月2回の確認と、物品の補充を滞りなく行いました。

(5) 汚物処理室の整頓と衛生管理を徹底する

取り組み内容	評価
全に汚物・危険物の保管と処理をするた	常に清潔を保つ為に、夜間帯や気が付いた時に
に、室内の清掃・美化に努めた。	清掃を行っています。新型コロナウイルス蔓延
潔拠点の模範となる様に、定期的な清掃	が悔やまれる所ですが、法人のマニュアルとリ
行い清潔・美化を保持する。今後も様々	ンクさせながら事業所の経験を活かしたマニ
感染源になりうる場所を想定して、計画	ュアル作成を行い再発防止に努めていきます。
な清掃を行う。職員・ご入居者共に、気	
ちよく過ごせる環境作りを行う。	
全に汚物・危険物の保管と処理をするたに、室内の清掃・美化に努めた。 潔拠点の模範となる様に、定期的な清掃 行い清潔・美化を保持する。今後も様々 感染源になりうる場所を想定して、計画 な清掃を行う。職員・ご入居者共に、気	常に清潔を保つ為に、夜間帯や気が付いた時に 清掃を行っています。新型コロナウイルス蔓延が悔やまれる所ですが、法人のマニュアルとリンクさせながら事業所の経験を活かしたマニュアル作成を行い再発防止に努めていきます。

(6)感染症予防や発生後の対応について、感染対策委員会と看護スタッフ共催で研修を行う。

	取り組み内容		評価	
(1) 研修	の資料作成を行った。	1	前年度の資料を基に、看護スタッフに確認
(2) 資料	作成を通して、介護職目線での研		し、研修を行った。
	修を	行い、知識と技術を醸成した。	2	適切な嘔吐処理が実施できた。
(3 東京	都が実施する老人保健施設等感	3	外部研修は中止になってしまった。
	染症	対策指導者養成研修に参加する		
	予定	であったが中止となる。		

3. 活動•運営報告

(1) 月次

	委員会	研修
4月	※議案は下記(2)特記事項参照	
5月		
6月		スタンダードプリコーション
		嘔吐処理実施研修 選抜
7月		
8月		
9月		
10		ノロウイルス研修
月		
11		インフルエンザ研修
月		嘔吐処理実施研修
12		
月		
1月		
2月		
3月		

(2) 特記事項

日付	議案	出席者
	・ガウンセットの補充なし	
	ブラシ交換 4/15	
	・次亜塩素酸チェック表	
	・嘔吐処理キットの確認	
	• 外部情報発信「緊急事態宣言」	
	・感染症リスト更新	◆ → ○+60.\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
4月21日	・感染対応 新型コロナウイルス拡大に伴い面会制限等	●本山 ○柳澤
第135回	・事業計画読み合わせ	佐久間施設長・神 谷
元 130 回	・事業報告 4月末まで提出予定	⁻
	• 年間予定表配布	22/31
	• 緊急事態宣言発令後の対応	
	・看取り支援の振り返り	
	・環境整備について	
	マスクの管理について	
	・個別支援リストの確認(2 階)	
	・ガウンセットの補充 5/16	
	・ブラシ交換 6 交換予定	
	・次亜塩素酸チェック表 8月更新予定	
	・嘔吐処理キットの確認	
	• 外部情報発信「緊急事態宣言」	
	・アルコールについて	●柳澤 ○小島
5月19	・共用部の消毒について	●柳洋 ● 小島 佐久間施設長・神
第136回	・嗽と手洗い 6月も実施	
я 130 <u>ы</u>	・感染症リスト更新	 笠原・本山・中野
	・感染対応 新型コロナウイルス拡大に伴い面会制限等	
	• 嘔吐処理実施研修 選抜	
	・事業報告 4月末まで提出予定	
	• 活動時の写真撮影	
	・誤薬防止について	
	・個別支援リストの確認(3階)	

		971231
	・ガウンセットの補充 6/15	
	ブラシ交換 6/15	
	・次亜塩素酸チェック表 8月更新予定	
	・嘔吐処理キットの確認	
	• 外部情報発信 職員伝言板確認	
	・嗽・手洗い 継続予定	●小島 ○丹保
6月16日	7月ボランティア再開について	佐久間施設長・笠
第 137 回	・外出活動・入館制限について	
	・送迎車の消毒について	本山・小泉・中野
	• 委員会指針読み合わせ	
	・事業計画読み合わせ	
	・服薬事故発生 服薬動作の確認	
	・ 転倒事故についての検証	
	・個別支援リストの確認(1 階	
	・ガウンセットの補充 7/3	
	・ブラシ交換 8月交換予定	
	・次亜塩素酸チェック表 8月更新予定	
	・嘔吐処理キットの確認	●丹保 ○小島
7月7日	• 外部情報発信	佐久間施設長・笠 原
第 138 回	・7月ボランティア再開し、問題なければ8月外出関係の	本山・小泉・中野
	再開検討	
	・マスクについて	
	・外階段の事故報告について	
	・個別支援リスト 作成中	

リブインさくら

	・ガウンセットの補充 8/2	
	・ブラシ交換 8月交換	
	・次亜塩素酸チェック表 8月更新	●小島 ○小泉
0.0.4.0	・嘔吐処理キットの確認	佐久間施設長・笠 原
8月4日	• 外部情報発信	
第 139 回	・リビングテーブルの次亜塩素酸消毒の経過	本山、万床、中封/
	・マスクについて	
	・骨折を伴う重大事故について	
	・個別支援リスト 作成中	

7)権利擁護委員会

1. 総括

例年と同じく、リスクマネジメント(事故防止)、及び虐待防止について、毎月2回、運営会議 出席者で話し合い、ご入居者の生命・生活及び尊厳の確保に努めてきました。

リスクマネジメントや虐待防止に対する取り組みとして、施設内で起こった事故・ヒヤリハットの集計および要因分析、注意喚起を行いました。時期によって事故・ヒヤリハットの件数の増減がありますが、増加傾向にあるものやなかなか減らないものについては、職員掲示板での発信や各委員会、朝と夕の申し送りなど、機会をとらえて職員間での注意喚起を促しました。また、「権利擁護委員会通信 VOL.83~87」を作成・掲示をしています。主に、事故や虐待ケースの情報発信や第三者評価結果を踏まえた今後の展望等の発信を行い、職員の意識向上に努めました。更に、事故防止についての職員指導経過を「リスクマネジメントミーティング記録」を介して委員会の中で共有し、施設内のリスク状況の情報交換と 認識共有を行いました。事故防止は、日頃からどれだけ危険因子のアンテナを高く持っていられるかにかかっています。職員間でのコミュニケーションを図りながら、今後も重大事故の防止に努めています。

虐待は「芽」のうちに摘み取ることが大事です。「芽」が育って大きくなってしまうと、手遅れです。委員会の中では、日頃の支援場面において気になることを「リスクマネジメントミーティング記録」を通して共有しました。言葉づかいや食事、お茶をお出しするタイミングなど、虐待とは関係のない些細なことをできるだけこまめに共有し、意見交換と認識合わせをすることで、職員への指導や意識喚起、および育成につなげていくことを目指しました。

2. 重点目標に対する評価

運営会議報告参照

8)身体拘束防止委員会

1. 総括

今年度は、1件の身体拘束ケースが発生しました。「何故、必要なのか」を考え毎日記録に残しながら解除に向け取り組みました。結果、半年後に解除をすることができましたが、ご入居者の権利や自由を考える良い機会となり、引き続き身体拘束をせずに対応できる仕組みや支援体制の構築を考えていきます。

2. 重点目標に対する評価

(1) 身体拘束から権利擁護や尊厳を考え行動する

取り組み内容	評価
身体拘束ゼロを基本とし、人権の尊重を重	身体拘束委員会で、身体拘束廃止への理解、支
視し日々の支援からも注意喚起に取り組	援上注意すべき点を検討しました。身体拘束廃
호.	止への概念が統一できたことで支援上、意識が
3ヶ月に1回の身体拘束委員会で拘束の	弱い部分を抽出し目標を立て3ヶ月取り組み
芽を発見し、マネジメントすることや身体	の再評価ができました。
拘束の概念より意識が弱いと感じられる	やむを得ない身体拘束の実施者が出たことで、
部分を抽出し全体に発信していく。また、	毎日の経過観察、毎月の身体拘束委員会を行い
年2回の身体拘束研修を全職員対象に行	切迫性・非代替性・一時性を確認し身体拘束の
った。	解除が実現できました。
やむを得ず身体拘束の実施者が出た場合	
に備え、切迫性・非代替性・一時性の内容	
把握、心身の状態を尊重したうえで拘束解	
除への取り組みの意識を委員会、研修を通	
じ確認した。	

3. 活動•運営報告

(1) 月次

日付	議案	出席者
6月23日	・身体拘束に関する理解が弱い部分の振り返り	●金子 ○杉
	・身体拘束禁止対象となる具体的行為、やむを得	佐久間、小島、古澤
	ず身体拘束を行う際の三原則の復習	中野、本吉
	・身体拘束解除に向けたカンファレンス	
	身体拘束の理解が弱い部分の検討	
	• 身体拘束研修の内容	
7月28日	• 身体拘束に関する理解が弱い部分の振り返り	●金子 ○小島
	・身体拘束禁止対象となる具体的行為、やむを得	佐久間、杉、古澤

	,	サノインごくら
	ず身体拘束を行う際の三原則の復習	中野、本吉
	・身体拘束解除に向けたカンファレンス	
	・身体拘束の理解が弱い部分の検討	
	• 身体拘束研修の内容	
9月22日	• 身体拘束に関する理解が弱い部分の振り返り	●金子 ○小島
	・身体拘束禁止対象となる具体的行為、やむを得	佐久間、杉、古澤
	ず身体拘束を行う際の三原則の復習	中野、本吉
	・身体拘束解除に向けたカンファレンス	
	・身体拘束の理解が弱い部分の検討	
	• 身体拘束研修の内容	
12月1日	• 身体拘束に関する理解が弱い部分の振り返り	●金子 ○杉
	・身体拘束禁止対象となる具体的行為、やむを得	佐久間、小島、古澤
	ず身体拘束を行う際の三原則の復習	中野、本吉
	• 身体拘束解除に向けたカンファレンス	
	• 身体拘束の理解が弱い部分の検討	
	• 身体拘束研修の内容	
2月28日	• 身体拘束に関する理解が弱い部分の振り返り	●金子 ○金子
	・身体拘束禁止対象となる具体的行為、やむを得	佐久間、丹保、古澤
	ず身体拘束を行う際の三原則の復習	中野、小島
	・身体拘束解除に向けたカンファレンス	
	・身体拘束の理解が弱い部分の検討	
	• 身体拘束研修の内容	

9)運営会議

1. 総括

当事業所の最高決裁機関としての機能を全うし、事業所運営及び各委員会等で持ち上がった 検討事項や未解決事項の決定を行う(原則として月2回実施)

日付	出席者						
4月10日(火)	●小島 ○藤岡 伊藤 杉 古澤 田川						
4月23日(火)	●小島 ○藤岡 伊藤 小島 杉 古澤						
5月14日(火)	●小島 ○藤岡 伊藤 杉 古澤 田川						
5月28日 (火)	●小島 ○藤岡 伊藤 杉 古澤 田川						
6月14日(金)	●藤岡 ○小島 伊藤 杉 古澤 田川						
6月25日(火)	●藤岡 ○小島 伊藤 杉 古澤 田川						

7月9日 (火)	●小島 ○藤岡 伊藤 杉 金子 古澤 田川
7月23日(火)	●小島 ○藤岡 伊藤 杉 金子 古澤
8月13日(火)	●藤岡 ○小島 伊藤 杉 金子 田川
8月27日 (火)	●藤岡 ○小島 伊藤 杉 金子 古澤 田川
9月10日(火)	●小島 ○藤岡 伊藤 佐久間 金子 杉 古澤 田川
9月24日(火)	●小島 ○藤岡 佐久間 金子 杉 古澤 田川
10月8日(火)	●藤岡 ○小島 伊藤 金子 杉 古澤 田川
10月21日(月)	●藤岡 ○小島 伊藤 佐久間 金子 杉 古澤 田川
11月12日(火)	●小島 ○藤岡 伊藤 金子 杉 古澤 田川
11月26日(火)	●小島 ○藤岡 伊藤 佐久間 金子 杉 古澤
12月13日(金)	●藤岡 ○小島 伊藤 佐久間 金子 杉 古澤 田川
12月24日(火)	●藤岡 ○金子 伊藤 佐久間 小島 杉 古澤 田川
1月6日(月)	●小島 ○藤岡 伊藤 佐久間 金子 杉 古澤 田川
1月28日 (火)	●小島 ○藤岡 伊藤 佐久間 金子 杉 古澤 田川
2月11日(火)	●藤岡 ○小島 伊藤 佐久間 金子 杉 古澤 田川
2月25日 (火)	●藤岡 ○小島 伊藤 佐久間 金子 杉
3月10日(火)	●小島 ○藤岡 伊藤 佐久間 金子 杉 古澤 田川
3月24日 (火)	●小島 ○藤岡 伊藤 佐久間 金子 杉 古澤 田川

2. 活動•運営報告

(1) 月次

日付	議案	出席者
4月13日	・個別支援リストの管理方法	●金子 ○杉
	あいまいとなっている支援の統一	伊藤、佐久間、丹保
	・業務動態の確認	
	・センサー使用者の留意点	
	・ケアカンファレンス	
	・ 重大事故に関する経過観察	
	・カンファレンス、ケアプラン更新確認	
5月4日	• 施設内研修の確認	●杉 ○丹保
	・委員会編成について	伊藤、佐久間、金子
	・ケアプラン説明(1表、2表)	
	・ケアカンファレンス	
	・センサー使用者に関する注意喚起	
	• 重大事故に関する経過観察	

	カンファレンス、ケアプラン更新確認	9 / 1 / 3 ()
6月5日	• 身体拘束に関しての書類確認	●丹保 ○金子
	・ご入居者の巡回、所在確認について	伊藤、佐久間、杉
	・センサー使用者の留意点	
	• 重大事故に関する経過観察	
	・カンファレンス、ケアプラン更新確認	
9月4日	・重大事故が起こった場合の対処方法	●金子 ○杉
	• 身体拘束に関する経過観察	伊藤、佐久間、丹保
	・個別支援リスト確認	
	・処遇の相談について	
	・センサー使用者の妥当性	
	・入職者育成について	
	・嚥下状態に評価について	
	・サブリーダーの固有業務	
	・ 重大事故に関する経過観察	
	・カンファレンス、ケアプラン更新確認	
12月5日	・センサー使用者の妥当性	●杉 ○丹保
	・身体拘束研修について	伊藤、佐久間、金子
	・プリセプター研修について	
	・個別支援リスト管理について	
	・事例検討会について	
	・夜勤業務について	
	• 記録について	
	・重大事故が起こった際の行政連絡	
	・カンファレンス、ケアプラン更新確認	
3月5日	・センサー使用者の妥当性	●丹保 ○金子
	・カンファレンス内容と課題定義	伊藤、佐久間、杉
	・車椅子清掃について	
	・次年度ケアマネジメント研修	
	巡回について	
	・カンファレンス、ケアプラン更新確認	

6、栄養

さくらの会や日々の生活の中でいただく食事に関するご意見は、ご要望に添えるよう、その都 度、運営会議で検討し管理栄養士とも相談の上で対応をさせていただいています。

ご好評をいただいている、おにぎりと炊き込みご飯についても、平成24年度から引き続き、 定期的にご提供し、今では毎月の食事メニューとして定着しています。

今後も、ご入居者のご要望にできるだけ沿えるよう努めて行きたいと思います。

1) 食事形態による摂取状況(3月1日現在)

ご入居者数 35名(内、入院者2名 IVH者1名)

①主 食・・・常食:23名 / 全粥: 8名 /

ペースト: 2名 / ソフト: 1名

②副 食・・・常食:18名 / 粗刻: 3名 / 刻み: 9名

超刻: 2名 / ソフト:0名 / ペースト:3名

③朝 食・・・和食:31名 / 洋食 3名

2) 嗜好調査(9月・3月全ご入居者を対象に実施)

年2回の嗜好調査を行い、大半のご入居者の皆様は満足していただける意見を頂きました。ただ、一部の方々にはおかずや汁物の温度に関して冷たいという意見もありました。今後、提供するにあたって、盛り付けるタイミングなどに配慮し、食事を美味しく召し上がっていただけるよう取り組みたいと思います。

3月には新型コロナウイルスの蔓延により、リビングでの食事は支援や見守りが必要なご入居者とし、ご自分で召し上がることのできるご入居者には居室で召し上がっていただく形で対応をさせていただきました。

① 9月の調査結果

・調査対象ご入居者 35名 (内、入院者1名 IVH1名)

・調査実施期間9月 1日 ∼ 9月10日

・調査方法 居室担当者に嗜好調査表を配布し、各担当のご入居者に伺い記入

≪主食≫ 常食: 23名 / 全粥: 9名 / ソフト: 1名

ペースト: 1名

《副食》 常食: 17名 / 粗刻: 3名 / 刻み: 12名

超刻: 0名 / ソフト: 0名 / ペースト: 2名

≪朝食≫ 和食: 31名 / 洋食: 3名

〇現在の食事についてのご意見をお聞かせください

ご飯の炊き方について

硬い・・・ 1名 / ちょうど良い・・・ 30名 / 柔かい・・・ 3名

無回答・・・ 2名

・温度について(主食)

熱い・・・ 3名 / ちょうど良い・・・ 27名 / 冷たい・・・ 3名

無回答・・・ 2名

温度について(副食)

熱い・・・ 0名 / ちょうど良い・・・ 30名 / 冷たい・・・ 3名

無回答・・・ 2名

・温度について(汁物)

熱い・・・ 2名 / ちょうど良い・・・ 28名 / 冷たい・・・ 3名

無回答・・・ 2名

• 味付けについて

濃い・・・ 4名 / 普通・・・ 23名 / 薄い・・・ 6名

無回答・・・ 2名

量について

多い・・・ 4名 / 普通・・・ 26名 / 少ない・・・ 3名

無回答・・・ 2名

・盛り付けの彩りについて

良い・・・ 6名 / 普通・・・ 25名 / 悪い・・・ 1名

無回答・・・ 3名(内、1名全盲のため)

・盛り付け方について

綺麗・・・ 7名 / 普通・・・ 25名 / 汚い・・・ O名

無回答・・・ 3名(内、1名全盲のため)

② 3月の調査結果

- ・調査対象ご入居者 30名 (内、入院者2名、IVH 1名)
- ・調査実施期間 3月 1日 ~ 3月10日
- •調査方法 居室担当者に嗜好調査表を配布し、各担当のご入居者に伺い記入

≪主食≫ 常食: 23名 / 全粥: 8名 / ソフト: 1名

ペースト 2名

《副食》 常食: 18名 / 粗刻: 3名 / 刻み: 9名

超刻: 2名 / ソフト: 0名 / ペースト: 3名

≪朝食≫ 和食: 31名 / 洋食: 3名

〇現在の食事についてのご意見をお聞かせください

ご飯の炊き方について

硬い・・・ 1名 / 普通・・・ 30名 / 柔かい・・・ 1名

無回答・・・ 3名

・温度について(主食)

熱い・・・ 0名 / ちょうど良い・・・ 30名 / 冷たい・・・ 1名 /

無回答••• 3名

・温度について(副食)

熱い・・・ O名 / ちょうど良い・・・ 3O名 / 冷たい・・・ 2名 / 無回答・・・ 3名

温度について(汁物)

熱い・・・ 1名 / ちょうど良い・・・ 29名 / 冷たい・・・ 2名 / 無回答・・・ 3名

・味付けについて

濃い・・・ 1名 / 普通・・・ 29名 / 薄い・・・ 2名無回答・・・ 3名

量について

多い・・・ 3名 / 普通・・・ 28名 / 少ない・・・ 1名無回答・・・ 3名

盛り付けの彩りについて

良い・・・ 6名 / 普通・・・ 25名 / 悪い・・・ 0名無回答・・・ 4名(内、1名全盲のため)

盛り付け方について

綺麗・・・ 5名 / 普通・・・ 26名 / 汚い・・・ 0名無回答・・・ 4名(内、1名全盲のため)

3) その他

① おにぎり・炊き込みご飯のご提供

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
おにぎり	六つの海の恵み	あおさ	かつお	博多明太子	梅	おかかチーズ
炊き込み	筍	九州かしわ飯	しらす	牛飯	鯛めし	豚飯

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
おにぎり	六つの海の味	うなぎ	松茸	ワサビふりかけ	若菜と梅しそ	たらこ
炊き込み	栗きのこ	松茸	舞茸きのこ	赤飯	豚飯	牛飯

7、入居者運営懇談会(さくらの会)

1. 総括

さくらの会は、毎月第4日曜日に開催してきました。生活する上でのご要望、ご意見をお聞き してご要望には居室担当を含めて対応をしてきました。今年度は、インフルエンザの流行はあり ませんでしたが、前年度の1月末からは全世界に新型コロナウイルス感染症が流行しました。職 員、ご入居者共に予防に努めてきました。入館制限によるご理解とご協力をさくらの会でお話を して、ご理解を頂きました。また引き続き手洗い・うがい実施のお願いをしています。

2. 活動•運営報告

日付	議案	出席者	
4月28日 138回	・施行調査結果 ・健康上アドバイス「健康目標の発表」 ・職員についてのお知らせ	【入居者】 3階:15名 1·2階:17名	【職員】 7名 8名
5月26日 139回	・衣替え・リネンの衣替え・健康上アドバイス「便秘と水分補給」・職員についてのお知らせ・食事の味付けが甘い	【入居者】 3階:15名 1•2階:16名	【職員】 7名 7名
6月23日 140回	・ネイルサロンについて・消防訓練のお知らせ・健康上アドバイス「熱中症予防」・職員についてのお知らせ	【入居者】 3階:15名 1·2階:17名	【職員】 8名 7名
7月28日 141回	・入居者健康診断・ネイルサロンについて・健康上アドバイス「不感蒸泄」・職員についてのお知らせ	【入居者】 3階:15名 1•2階:15名	【職員】 7名 7名
8月25日 142回	・消防訓練のお知らせ・思考調査について・イベント浴について・健康上アドバイス「筋力」	【入居者】 3階:12名 1•2階:18名	【職員】 7名 7名
9月22日 143回	・衣替えについて ・消費税率引き上げ ・介護報酬単価の改定について ・健康上アドバイス 「季節の変わり目の体調不良」	【入居者】 3階:11名 1•2階:16名	【職員】 9名 9名
10月27日	・インフルエンザ予防接種・健康上アドバイス「居室対応の意味」・サンドイッチの量を増やしてほしい・果物を増やしてほしい	【入居者】 3階:10名 1•2階:16名	【職員】 7名 8名

			/1/2/5
11月24日	・年末年始の過ごし方・お餅つきについて	【入居者】	【職員】
		3階:13名	9名
145回 	・健康上アドバイス	1•2階:15名	8名
	「インフルエンザと正しい手指消毒」		
	・年末年始の過ごし方		
	お餅つきについて	【入居者】	【職員】
12月22日	獅子舞について	3階:13名	8名
1460	・食事前の消毒とおしぼりについて	11•2階:15名	7名
	健康上アドバイス	1 • 2 陌 · 1 3 台	1 右
	「入浴の効果、ヒートショック予防」		
1月26日	• 冬季健康診断	【入居者】	【職員】
	健康上アドバイス「インフルエンザ」	3階:13名	8名
1470	職員についてのお知らせ	1•2階:15名	7名
2月23日	・新型コロナウイルス流行について	【入居者】	【職員】
	・健康上アドバイス「今年度健康目標」	3階:10名	8名
1480	「次年度健康目標」	1・2階:13名	7名
	・消防点検について		
	・プロジェクトについて		/ mi = 1
3月22日	職員についてのお知らせ	【入居者】	【職員】
1490	・入館制限によるご理解とご協力	3階:13名	8名
	・健康上のアドバイス	1・2階:15名	9名
	「新型コロナウイルス感染症について」		

8、行事 / 余暇活動

昨年度は、コロナ禍の影響で外出活動やボランティアの受け入れを縮小し、内部活動の充実と テレビでユーチューブを流せるようにオンライン化したりと ICT を活用しながら活動の幅を広く しました。また、普段は外で行うお花見や初詣を 4 階の多目的ルームで行う工夫をしました。活 動を行う面でも風通しを良くし、距離を離し、物品の消毒など行い感染予防に努めてきました。

また、陽の光を浴びる時間を作るために、体操を4階テラスで行う「青空体操」を行い体や心に気を付けました。

初の試みで法人全体のプロジェクトの一つ、「笑顔プロジェクト」の企画【ボッチャ大会】をリモートで行いました。ご入居者で編成された各事業所の参加チームから、勝ち残った1チームが本部の勝ち残ったチームと決勝戦という形で対戦をしました。リブインさくらのチームは、惜しくも準優勝でしたが、ご入居者も職員も楽しまれていました。

活動はご入居者の心身を整えることにも繋がります。感染予防にも気を付け、今後も良い活動を提供していきます。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
体 操	82	86	89	80	84	73	77	80	78	83	72	62	946
映画上映会	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	1	0	20
外 出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誕生日会	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	10
レクリエーション	7	6	6	4	7	4	5	4	3	5	3	2	56
ホ ゙ランティア	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
音楽教室	0	Ο	0	2	2	2	2	2	2	2	2	1	17
ダンス教室	0	Ο	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9

映画上映会… 4月「眠狂四郎 菖蒲」「劇場版 鬼平犯科帳」

5月「サムライせんせい」「男はつらいよ フーテンの寅」

6月「アリス・イン・ワンダーランド」

7月「ステキな金縛り」

8月「忍びの者」「おしん」

9月「ALWAYS 三丁目の夕日」

10月「ブルー・ジャーニー」「ピーター・ラビット」

11月「パディントン」「ホーム・アローン」

12月「長谷川一夫」

1月「8時だョ!全員集合」「水戸黄門」

2月「皇帝ペンギン」

3月 新型コロナウイルス蔓延のため中止

制作活動… 4月「段ボールで鯉のぼり作り」

5月「梅雨の季節の吊るし飾り作り」

6月「七夕のパネル作り」

7月「金魚の吊るし作り」

8月「お月見吊るし作り」

9月「秋の飾りの壁飾り作り」

10月「タペストリーに七五三の飾りつけ作り」

11月「コルクボードで作るクリスマス飾り作り」

12月「干支の絵馬作り」

1月「餅つき壁飾り作り」

2月「箸袋作り」

3月「台紙にお花見作り」

買い物外出…コロナ禍のため外出活動中止

喫茶店外出…コロナ禍のため外出活動中止

誕生日会…外食はせずテイクアウトしたものを提供しました

レクリエ-ション…青空体操、頭の体操、アルバム作り、紙コップボールシュート ことわざかるた、サッカー風ゲーム、ジャンボジェンガ、ポスター作り ボッチャ、ボールでゲーム

ボランティア…「はいからさん(福本様)」

地域交流…コロナ禍のため中止

2) 趣味活動プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
制作活動	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23
カラオケ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
園芸クラブ	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	22
料理クラブ	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	70
書道	2	0	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	13

園芸クラブ 4月「お花の苗植え」「野菜の苗植え」

- 5月「小松菜の収穫/お花の種植え/苺の収穫」「さつま芋の苗植え/きゅうりの苗植え」
- 6月「らっきょう漬け作り」「梅干し作り」
- 7月「梅干しのシソ漬け」「シソ漬け梅を干す」
- 8月「お花の苗植え」「お花の種植え/コンテナに野菜種植え」
- 9月「大根の種植えとブロッコリーの苗植え」「21日は雨天中止」
- 10月「苺の苗植え/大根の種植え」「さつま芋の収穫」
- 11月「チューリップの球根植え」「バンジーとビオラの花植え」
- 12月「クリスマスリース作り」「お正月飾り作り」
 - 1月「ぬか漬けに野菜を漬ける」「さつま芋ご飯作り」
 - 2月「花植え」「花の苗植え」
 - 3月「じゃが芋の種芋植え」

3) ボランティア

- ●活動などにご協力いただいたボランティアの方々 等
 - ・はいからさん(福本様) (民謡・南京玉すだれ/11月)
- ●活動などにご協力いただいた団体並びに業者の方
 - (株) Leaf音楽療法センター様 (音楽療法/毎月1回)
 - ・的場 優様 (音楽療法/毎月1回・12月から第2日曜日にミニコンサート)
 - ディチャーム(株)様 (理美容/毎月1回)
 - コミュニケーション エクササイズラボ様 (ダンス/毎月1回)8月以外
 - hana様 (アロマハンドセラピー/毎月1回)3月以外

9、研修

1)職場内研修報告

※FB=外部研修参加者のフィードバック研修

日付	研修内容と目的	講師及び担当	参加者
4月1日~ 4月30日	認知症研修 認知症介護に関する価値観へ軸の方向性を 整える	佐久間	21名
4月1日~ 5月14日	医療研修 バイタルサイン測定、血糖値測定の正常値の 確認と測定方法を学ぶ	中野、田川	18名
6月1日~ 6月30日	標準予防策研修 感染予防の基本的方法を学び発症、媒介、蔓 延予防に努める	神谷、金子	20名
5月1日~ 5月31日	バイタル、血糖測定研修(実践研修) 正しいバイタル測定、糖尿病が理解できる 正しい方法で測定ができる	田川、中野	17名
6月1日~ 6月30日	スタンダードプリコーション研修 基本的な感染予防の知識を学ぶ	小島、金子、神谷	19名
6月22日 6月27日	嘔吐処理実践研修 入職者を対象に嘔吐処理の対応を学ぶ	本山、小島	3名
7月1日~ 7月30日	緊急対応研修 夜間想定にて緊急時の動きを確認する	中野、田川	22名
8月1日~ 8月31日	コーチング研修 コーチング、ティーチングの理解を深める	佐久間	21名
8月1日~ 8月31日	事故防止研修 内出血の危険がある方を対象に検証する	小島、古澤、杉	19名
9月1日~ 9月30日	医療研修 吸引演習を実践で行い手技を確認する	中野、田川	17名
9月1日~ 9月30日	感染チェックリスト	小泉	22名
10月1日~	ノロウイルス研修 基本と対応方法を学ぶ	本山、杉、金子	22名
11月1日~ 11月30日	インフルエンザ研修 基礎知識と対応方法を学ぶ	丹保、中野	25名
11月1日~ 11月30日	嘔吐処理実践研修 適切な嘔吐処理方法を再確認する	感染対策メンバー	17名
12月3日~	身体拘束研修 身体拘束指針を中心に研修を行う	佐久間、金子、 杉	34名
1月5日~	看取り研修	中野、田川	21名

		<u> </u>	, , , , ,	
1月31日	看取り支援に関してディスカッション形式			
	で考え方向性を確認する			
2月4日	経管栄養研修	中野、田川	11名	
2月18日	演習を通じて基本的手技を学ぶ	中野、田川	116	
3月1日~	ハラスメント研修	佐久間	104	
3月31日	職場におけるハラスメントの理解	性人间	18名	
4月1日~	身体拘束研修(入職者対象)	金子	4名	
9月30日	指針説明を行う	立.	46	
4月1日~	医療研修(入職者対象)	中野、田川	19名	
9月30日	バイタル測定			
4月1日~	医療研修(入職者対象)	中野、田川	15名	
9月30日	吸引研修	中野、田川	1 5 4	
4月1日~	医療研修(入職者対象)	 中野、田川	18名	
9月30日	血糖値測定	平±3、□川	104	
10月1日~	医療研修(入職者対象)	中野、田川	2名	
3月31日	経管栄養	十卦、田川 一	46	
3月1日~	医療研修(入職者対象)	中野、田川	5名	
3月31日	吸引研修	午班、田川	56	

10、その他

1) 職員健康診断

前期(夜勤対象者のみ)6月28日・29日、後期(全職員対象)12月9日・10日に法人本部にて実施しました。

2)消防関係

消防署の指導のもと、ご入居者にも参加していただき、定期的な消防訓練等を実施しました。 消防署員立ち合いでの自衛消防訓練については、新型コロナウイルス感染予防の兼ね合いにで中 止しています。年2回の消防器具点検も滞りなく実施しています。

今年度も、12月に優良防火対象物認定の更新申請を行い、自衛消防訓練及び建物の適合判定を受け、「優良防火対象物(優マーク)」の認定を取得しています。

訓練内容 等	実施日時	協力機関 等	
自衛消防訓練(実働なし・日中想定)	8月12日	自主訓練	
自衛消防訓練・総合訓練		西新井消防署員(感染予防で不参加)	
(実働あり・夜間想定)	10月27日	八興㈱	
水消火器を使用した消火器使用訓練		㈱ハート防災	
自衛消防訓練・総合訓練	3月9日	八興(株)	
(実働あり・日中想定)	3730	㈱ハート防災	

3)建物定期保守管理(点検・清掃等)

仕様書に基づき、スケジュール通りのメンテナンスと、必要な修繕及び補修を行っています。

	所・内容	日付	実施機関	
		4月6日		
		6月3日		
受変電設備等の点検		8月4日		
自家用予備発電機の点検		10月6日	日本テクノ㈱	
		12月7日		
		2月3日		
自家用電気工作物年次定	期検査	6月3日		
 消防設備点検	外観機能	9月15日	八興(株)	
/月炒改開無快 	総合	3月9日	㈱ハート防災	
給水設備保守	受水槽点検、清掃	8月19日		
和小政佣床也	水質検査	8月19日	八興(株)	
井水設備保守		8月19日	7 (2 (10))	
増圧直結給水ポンプ点検		8月19日		
実施箇	所・内容	日 付	実施機関	
屋上給水ユニット点検		4月10日	ホームエンシ゛ニアリンク゛(株)	
井水設備	滅菌装置点検	11月30日	㈱オーヤラックス	
		4月3日		
		5月1日		
		6月5日		
		7月2日※3日		
 エレベーター点検		8月5日		
※小荷物専用昇降機の	占焓	9月4日		
●ワイヤー交換	MIX.	10月2日		
		11月6日	ハインエレベーター	
		12月4日		
		1月15日●		
		2月12日		
		3月5日		
エレベーター年次定期検	查	1月15日		
 自動ドアの点検		8月5日		
		2月12日		
植栽管理	消毒・殺菌・剪定・		 (株)たんぽぽ農園	
	巡回 ※月1回程度巡回含			
 食器洗浄機定期保守点検	(3台)	買い替えにて保留	 ホシザキ関東(株)	
	·	買い替えにて保留		

**************************************	th (04)	6月16日		
業務用冷蔵庫定期保守点 	快(2百)	12月3日		
リースカーテンクリーニ	ング	7月15日	東京サンブライト	
	厨房、キッチン	6月22日		
 特別清掃・細菌検査	特別清掃・細菌検査	12月21日	 - 八興(株)	
1400月前 1400次月	厨房、キッチン	9月16日	/ (坪 ((州)	
	細菌検査のみ	3月12日		
	床	7月3日		
特別清掃	浴室	7月4日	ポラストカロ・ハ	
	外部清掃(窓・サッシ等)	7月5日	ポライトクリーン 	
ロスナイ換気扇及び換気	ダクト清掃	11月25日		
	+	4月17日	(+t) D + (> D	
エコキュート定期保守点	快	10月15日	(株)日本イトミック	

4) その他の建物及び設備保守管理 等

- •電子錠点検修理(㈱日本電子工業)【4月7日実施】
- ・楽天モバイルアンテナ点検【4月24日実施・6月22日実施】
- ・ 3階製氷機パイプ水漏れ修理【5月7日実施】
- ・3階浴槽コントロールユニット交換(TOTOメンテナンス㈱)【6月3日実施】
- ・2階デマンド交換(日本テクノ㈱)【6月3日実施】
- ・館内全居室エアコン交換工事(㈱スターツ)【7月22日~24日実施】
- ・ 2階3階ステーションのガラス間仕切り工事(㈱スターツ)【7月28日実施】
- ・館内防犯カメラ交換工事(㈱アイ・ティ・ブリッジ)【8月26日実施】
- ・電気メーター交換(㈱東光高岳)【9月14実施】
- ・共用部エアコン洗浄 (㈱オーセビック)【10月23日実施】
- ・全居室マットレス交換(㈱ワタキューセイモア)【10月27日実施】
- ・送迎者 NOAH1年点検(㈱トヨタ)【2月21日実施】